京城日報
(年中無休刊)
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
振替京城三〇〇番

七月四日夕刊 (朝刊併せて八頁)

不調印聲明
山東保留調印不許可 罪は講和會議に在りと稱す

六月二十八日講和條約調印終了後支那全權委員の名に於て左の聲明を爲せり(共榮寄り東京特電)

最高講和會議の決定は公平を失し支那國民の輿論に背くが故に支那全權は山東問題に關し其の條件を保留して調印するの外なしと思考し再三之れを最高會議に訴へたるも顧みられず依つて支那全權委員は講和調印前即ち二十八日午前更に書面を以て後日適當の機會に山東問題を再考すべき條件の下に調印すべきことを申し出でたるに保留調印は許さざる旨を以て拒絶せられたり故に支那全權は條約全體の調印を拒絶するの外なく之れが責任は支那全權にあらず其の罪は講和會議にあり

戒諭電報發送か
調印拒絶は兩氏意見の衝突か

調印拒絶の公報未だ北京に達せざるも各官廳の氣分緊張し總統府は門を閉ぢて外來人の接見を中止し外交部又各公使との會見を謝絶し各大官は總統府に參集し緊急會議を開き善後策に就き協議中なるが或は戒諭の訓電をするやも知れずと而して調印を拒絶せるは陸徴祥、王正廷兩氏の間に意見の衝突を來したる結果本國より訓電達する迄一時延期するとの理由の下に兎も角も二十八日の調印を回避したるものの如し(北京電報)

調印拒絶と不同情
之れ支那外交の傳統的形式

シャトル發外務省着=シャトルにては支那全權委員の調印拒絶に對し毫も同情を喚起せざるのみならずシアトル、タイムス紙の如きは之れ支那外交の傳統的形式なり支那國民は議論と文章に長ずるも事毎に苦情を持ち出す僻ありと批評せり(東京特電)

條約佛下院提出
ボアンカレー氏の演説

講和條約批准の爲め同條約は佛國下院に提出せられたるが其の際大統領ボアンカレー氏はアルサス、ローレンが再び佛國に歸したることを告げ更に佛國兵士の武勇を賞讃するや熱狂的大喝采は四隅に起れり(巴里電報)

南阿代表調印

英領南阿代表者スマッツ將軍は條約に調印せり(桑港電報)

對獨封鎖解除

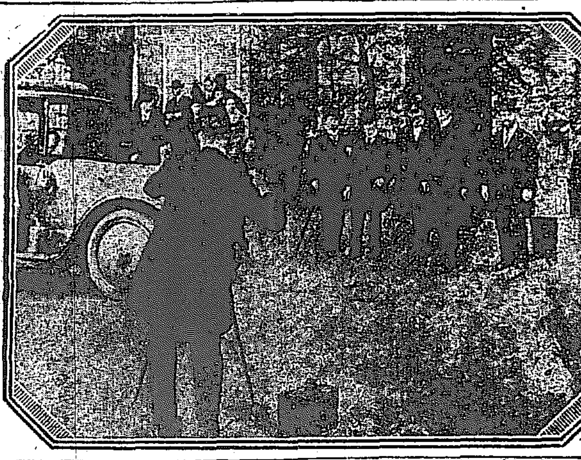
巴里來電=聯合軍は講和條約に調印したる以上批准を俟たず直ちに對獨封鎖を解除すべく準備しつゝあり(倫敦電報)

墺國負債と伊國

墺國の負債は同國を形成せる人民に依り負擔せられざるべからざる旨外交會議に於て決定したるを以て伊太利も此の一部を支拂ふべきものなりと(巴里電報)

叛徒漢堡蹂躙

叛徒は漢堡を蹂躙したるが軍隊は秩序恢復の爲め同地に急行せり(伯林電報)


調印を終り歸國の途に就きたる獨逸講和委員

小露軍の優勢

小露軍は露國過激派軍を撃退しオデッサを奪還しハリコフ及びゼルスキーの兩地を占領しキエフを威嚇しつゝありと傳へらる(倫敦電報)

紐育財界近狀

六月三十日發=紐育の金融市場は半期末並に配當資金準備のためコールマネー十五パーセントを唱へたるも其の準備成ると共に引ゆるみ週末五パーセントを唱ふるに至れり定期貸し供給多く四、四分の三パーセント商業手形引受け稍增加したるも利率變りなし納税用大藏省證券九月十五日十二月十五日期日の二種何れも利率四半パーセントにて發行の旨發表さる株式市場は氣迷ひの姿にて相場は區々なり平和條約の調印は既に發明されたるを以て格別の變化なし又取引數も減退せり外國爲替市場は概して軟弱を示し金の輸出は南米へ一千五百萬弗西班牙に四百萬弗を示し政府貸出は佛國へ五千萬弗伊太利へ一億百萬弗羅馬尼亞に五百萬弗なり(紐育電報)

金塊續々輸出

最近十日間に價格九萬弗の金塊日本へ輸送されたり又數日中に略同額の金塊輸送さるべし(紐育電報)

オムスク金貨印度輸出

オムスク政府より上海に輸送せる金貨一千二百萬留は目下印度にて金の缺乏せる際とて大部分は既に印度に流出され居れりと(上海電報)

陸軍定期異動
閑院宮元帥か

陸軍定期異動は略詮衡を終り來る二十四日頃發表の筈なるが閑院宮殿下は元帥に列せらるべく侍從武官長内山小二郎大將は軍事參議官となり其の後任には第一師團長司令操中將親補せらるべし尚軍事參議官大迫尚道大將は後備役に編入新に大將に陞進するもの四名中將に八名朝鮮軍並に在鮮師團に於ても多數の異動あるべし(東京電報)

十二師團凱旋

出征第十二師團司令部及び歩兵第十二旅團司令部は既報の如く四日御用船臺中丸にて門司に凱旋せり(下關電報)

蒙古より歸りて(二) 外山高一氏談

本船の乘客は百名許りで私の外は全部支那人であつた。高級船員は露西亞人で日本人に對しては頗る好意を持つて居るもの如く私が注文もしないのに酒、德利を提げやつて來て一緒に飲まう抔と云つた。是れに反し支那人は

總てに遠慮 勝ちで食事時間にも食堂に出ずに自分の部屋でコソ〳〵と濟ますと云ふ風であつた、或は露西亞人と多少の反目の傾向があるのではないかと思はれた。其の代り夜になると彼等は盛んに賭博をやつて居た。二晝夜の後私等は汽船から降りて三隻の戎克に乘り替た。私の乘つたのは一番大體の分であつたが是れ等の戎克には支那兵らしき者五六名、其の外兵士ではないが銃を持つた者が數人乘つて居た、即ち武裝した戎克と云つてもよい狀況であつた

暫く進んだ 時船の行手に方つて二三丁許りの距離の處から一人の旅人らしい者が何か頻りに私共の船を呼んで居る、其の樣子が自分をも船に乘せて呉れと賴むものらしく思はれた。と突如耳を劈く銃聲が起つた、私の船から彼の旅人に向つて一齊射擊を行り出した後で聞くと此邊は馬賊が出沒するので決して油斷はならない、先刻の旅人態の者も馬賊の手先らしく思はれたから發砲して威嚇したのだとの事であつた戎克は

夕方伯都納 に著いた。伯都納には一人の日本人の醫師が居ると云ふので訪ねて行くと、もう三箇月許りも日本人に會はないと云つて喜んで呉れた。色々樣子を聞けば此邊は以前は一般に排外思想の盛んな土地であつた、加之舊暦の暮と七月十五日前後と云ふ頃に此の邊を旅行するのは甚だ危險だとのことである。私の同地に著いたのは八月の十二日で恰度

警戒を要す る時期であつたから十八日迄其の醫師の家に厄介になり愈々是れから東部蒙古に入るべく大車と稱する乘合馬車に乘つて出發した、然して洮南府に著き更に興安嶺近くに迄行き度いと思つたが馬賊の危險が多いから多人數の團體ならば兎も角一人で行くことは出來ないと云ふので久留米定を變更し十月末鄭家屯へ戻つた。伯都納、洮南地方は奉天省の西部に過ぎないから風俗習慣は殆んど滿洲と變らない言葉も蒙古語を使つて通用しないことはないが蒙古語でなくてはならぬと云ふ程ではない。再び大連に歸つて今度は外

蒙古に出る 計畫をした上十月卅一日天長節祝日を以て同地を出發天津に赴き十一月下旬張家口に著いた。此處からは庫倫迄乘合自動車があると思つて居た處が少し氣候が寒くなつたから通はないと云ふので止むを得ず駱駝に乘つて出發した、是れは蒙支貿易に從事する駱駝隊で駱駝約七十頭夫に支那人蒙古人の商人數名が附いて居たが約一箇月の後庫倫に到著した

支那總領事更迭
釜山領事も轉任

駐日支那公使館一等秘書官王鴻年氏は京城駐在同總領事富士英氏病氣歸國に就き豫て總領事代理を命ぜられ赴任中なりしが今回愈々總領事に任ぜられ又釜山駐在領事柯鴻烈氏は神戸に轉じ外交部電報課長辛寶慈氏釜山駐在領事に任ぜられたり(東京特電)

總督出發

長谷川總督は既報の如く夫人同伴村田武官、大島副官、神田秘書官等を隨へ四日午前十時南大門發列車にて東上の途に就きたるが停車場には山縣政務總監、朴泳孝侯、李完用伯、閔丙奭、尹德榮、李秉武子、韓昌洙男其他主なる朝鮮貴族、宇都宮軍司令官、鈴木小原兩長官、松永道長官、荻田局長、久水課長、具警務官其他所屬署長、美濃部鮮銀總裁、松平東拓理事、三島殖銀頭取、松崎朝郵專務、韓漢銀專務、河本副頭取、藤井寛太郎氏等官民二百餘名の見送りありたり因に一行は五日朝馬關著山陽ホテルに入り同日午後七時過の列車にて東上六日朝京都驛に下車桃山御陵參拜の上一泊七日早朝同地發同日午後八時三十分東京著の筈なるが往復約一ヶ月の豫定なりと

總督の獻上品

長谷川總督は四日出發東上に際し左記の朝鮮物產を獻上すべく攜帶せり

▲水產品 海參十斤(元山潛水器組合謹製)寒天十把(釜山中村俊松氏謹製)▲專賣課製品 朝鮮產煙草を原料とせる雨切煙草二箱▲農產品 水原勸業試驗所の獻上に係る養蠶標本一箱其他米、麥、大豆等の精製品

鐵道工事契約變更
鐵道局監理課長 和田駿氏談

時局の影響として近年物價の騰貴殊に人夫賃銀の騰貴甚だしく鐵道工事請負業者は非常なる打撃を蒙り現に工事を請負つゝある者も

解約を希望 する者續出し工事に支障を來すに至りしを以て今回當分の內左の如く契約を變更し六箇月毎に請負金額の單價を更正することとせり實は昨年請負金增額の際より此方法を採らむかと思考せしも當時に於ては工事請負者側にては物價の昂騰漸次緩和せらるべきを豫想せしを以てか新規工事に對しても請負を希望する者あり工事進捗上何等の支障を感ぜざりし故、單に一時的請負金額の

割增 しを爲すに止めたりしが今日にても猶物價の騰貴は底止する所を知らず近く物價は低落すべしとの當業者等の豫想全然裏切られ且近來に至りては進みて工事を請負はむとするものなく、强て之に請負はしめむとせば勢ひ將來の危險を慮りて不當の高價を要求するに至り若し此儘に推移せば終に破綻者を出すべく其の結果として銀行を始め關係地方の債權者は多大の迷惑を蒙り經濟界を紊亂せしむるのみならず將來の請負價格

不當に昂上 し政府に於ても其の召擦に堪へざるに至るべきを以て茲に今回の改正を行ふに至りたるものなり而して請負ひ契約單價は左の方法に依り六箇月毎に改定するものとす

一、朝鮮銀行の調査に係る勞働賃銀平均指數及び勞働重要物價總平均指數の各異動率の平均が百分の十以上に達したる時は未成工事に對し同一割合に依り請負單價を增減す但し百分の十未滿の時は爾後の改定期に於て通算するものとす

一、前記指數とは契約又は改定月の二ヶ月前に於て既往六ヶ月間の平均指數を云ひ未成工事とは改定前月十六日に於ける未成工事を云ふ

黑鉛界近狀 鱗狀黑鉛

界は益々不振狀態にして一方內地に於ける滯貨の消化なきため殆ど市價の上伸を見ず從つて西鮮地方の黑鉛業者は相繼いで倒れ目下作業を繼續しつつあるは一二の基礎を有し注文品を有するものに過ぎず且生產費の低廉なる良質礦山以外は全部撤廢されたりと

永成間開通期

目下工事中の永興咸興間の鐵道は本年十一月末を以て開通の運びとなるべく開通の曉は同地にて共進會開催すべく目下準備中なり尤も或は都合に依り解氷迄開催の延期を見る事あるべきも何れにしても共進會は決定せるものゝ如しと

鮮銀の小額券
=西伯利發行問題=

政府にては過般オムスク政府が露國ケレンスキー小札の流通廢止を斷行後北滿並に西伯利に於る小札不足に對應するため朝鮮銀行に小額紙幣を發行せしめんとの意あり右はハルビン在住邦人有志が小札の拂底を日露貿易上の危機として救濟方を政府に請願せし事並に今村

駐露財務官 も略同樣の意見を有するためなるべし然し乍ら最近に於ける西伯利並に北滿の小札は必ずしも鮮銀の小額券を待たずとも緩和し得らるゝにあらずやとの模樣あり乃ちオムスク政府は米國にて印刷したる五十哥、一留五十哥の小紙幣を發行し北滿西伯利に流通せしめつゝあり更に一留、五留券をも發行し又ハルビン市役所にても三留五留券を發行しつゝあれば今や唯オムスク政府並にハルビン市役所發行の小札が何程に達し又北滿西伯利の小札不足現狀を救濟し得るか否かは問題にして若し朝鮮銀行に小額紙幣の發行をなさしむるとせばオムスク政府並に市役所發行の分小額或は信用不足にして用をなさざるためにあらん然もオムスク政府の列國承認問題も屢々傳へられつゝある今日とて鮮銀小額券の新なる發行あるや否やは多少疑はしき如し

鮮銀當局談 鮮銀の北滿西伯利に對する小札發行は唯のみにて果して實現するか否か不明なり假りに實現するものにせよ製版印刷等に約三箇月間位の日子を必要とすべくオイソレと言ふ譯に行かず又京日の東京電報には十錢廿錢五十錢札ならんとありしも露西のために發行すべきものにつきその額面を日從とするは不便あり一留、五留十留と云ふ式に行く事となるべき乎

資金集散概算

七月中朝鮮に於ける資金集散狀況は收納の部三百二十六萬九千圓支出の部合計二萬三千餘圓にして其の內容は左の如し

收納の部	
國税及準國税	五、〇〇〇圓
諸會社株金拂込	一、二六四、〇〇〇
諸會社債券拂込	二、〇〇〇、〇〇〇
合計	三、二六九、〇〇〇
支拂の部	
諸會社利益配當	二二、九〇〇
諸會社債券元利子仕拂	五〇〇
合計	二三、四〇〇

手形交換狀況

六月中京城に於ける手形交換の狀況を聞くに枚數六萬八千十六枚金額三千四百十萬圓にして其內譯を示せば左の如し

種類	枚數	金額
小切手	三四、五四〇	三、三六八、〇〇〇
送金爲替手形	一、六三九	二、七八六、〇〇〇
約束手形	三、四四九	三、三五三、〇〇〇
仕拂命令		二、一〇〇、〇〇〇
引出切符	三、三〇四	一、一四四、〇〇〇
郵便爲替證書	一五、三〇六	三五五、〇〇〇
公債債券同利札	三六一	二一、〇〇〇
雜證票	五九八	三、四二一、〇〇〇
合計	六八、〇一六	三四、一〇〇、〇〇〇

而して之を前月に比較せば枚數に於て五百三十四枚金額に於て三十六萬八千圓の減少を示せり

鮮米二次積取

遞信省の旨を受け日本郵船會社より差し向けたる第二回鮮米積取船安神丸(二千餘噸)は四日群山入港同港にて一萬二千叺釜山にて一萬五千叺を積載し橫濱に直行すべしと

米檢所長會議

京畿道にては管內に於ける各米豆檢査所の事務統一を圖る爲め比較的閑散時期を利用し七月五日六日の兩日間各所長を召集し會議すべし

客月鮮鐵成績

客月中朝鮮線の運輸狀況を聞くに乘車人員七十九萬三千餘人貨物噸數二十八萬八千噸運輸收入百四十四萬一千圓にして前年度に比し人員に三割二分、噸數に四割收入に三割五分の增加を示し一日一哩平均收入は四十三圓六十三錢に當り前年度の同月に比し十一圓廿錢の增加を示せりと

貨車竣工

豫て南鐵京城管理局に於て製作中の有蓋貨車三十輛の內三日迄に二十輛竣成し殘部も近く竣成すべしと

檢閱第三日

淨法寺師團長の隨時檢閱第三日は四日午前八時より步兵第四十旅團司令部に臨み檢閱の後步兵第七十九聯隊に臨みたるが五日も引續き同聯隊を閱し七日龍山出發六田部隊に臨場すべしと

長官會議休會

總督府にては四日定例長官會議開催の筈なりしも都合に依り休會せり

普通學校設置

江原道通川郡守より豫て申請中なりし同郡內遊面酒泉公立普通學校設置の件は七月二日附を以て認可せられたり次に忠北槐山郡守より豫て申請中なりし同郡佛項面牧渡里に牧渡公立普通學校設置の件は七月三日附を以て認可せられたり

新任挨拶やら社務の視察に
夏秋東拓理事語る

東拓新理事夏秋十郎氏は二日朝東京發四日午前九時二十五分南大門驛著列車にて入城午前十一時東拓支店に到り松平理事と同席の上支店社員全部を樓上に集めて一場の就任の挨拶をなし各課長より庶務の報告を受けたるが氏は八日頃まで滯城その間水原に往復し更に西行して沙里院方面を視察の上歸東すべし氏は語る今回の來鮮は總督府に

新任挨拶 並に朝鮮に於ける社務の一部を視ようと云ふにある然し東京の方が多忙でゆつくり田舍廻りも出來ず何程視察し得るかは怪しいものだ尤も吾輩には分らなくとも舊重役諸氏並に社員諸君多數のあるあり晏如として居れる譯だ——なぞと哄笑しつゝ朝鮮には四十三年千葉縣內務部長時代にやつて來た事もあるが、もう十年も前の事だから餘程變つてゐるらしい。當時も素通り同然であつたし、今度は夜中京綏線を通つて今先京城に著いた許りそれに

東京から ブッ通しにやつて來たから睡眠不足と疲勞で元來よくない頭が一層惡くなつてゐる今度は見よう聞かうのために來たのであるから吾輩の話しなぞは引出さぬやうにして欲しい東拓の社業に就ては諸君の方が餘程通じてゐられやうなと、體逃しつゝ眞面目な話を避けた

出張命令(三日附)

總督府技師 野口次郎三
全州に出張を命ず
總督府技師 池田泰次郎
京畿道富川、金浦郡管內に出張を命ず

人事消息

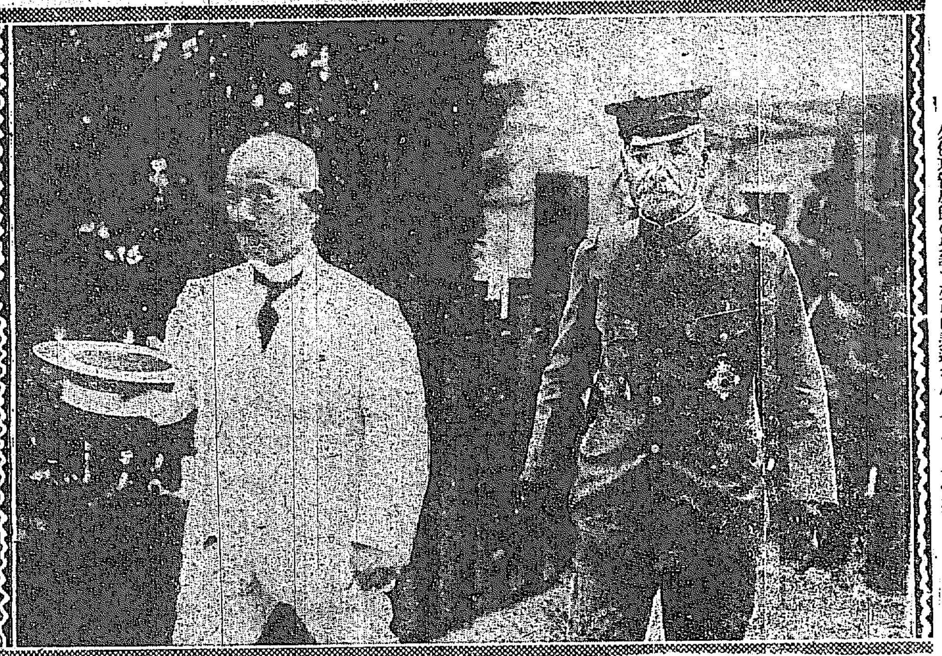
▲吉川喜士太氏(松島洋行支配人) 四日朝入城山本旅館へ
▲夏秋十郎氏(東拓理事) 四日朝入城朝鮮ホテルへ
▲笹岡一賀氏(東拓奉天支店長) 四日朝來城
▲谷多喜磨氏(江原道第一部長) 四日出發の筈の所五日午前八時出發に變更せり
▲岡田飛兵大尉(龍山野砲兵中隊長) 合弟岡田飛行中尉の葬儀に列すべく四日發上京
▲內野龍山旅團長 師團長の隨時檢閱に立會の爲め六日龍山發大田に出張すべしと

八面鋒

◆世界平和の氣分は何時迄續くか太平の夢裡既に百鬼跳梁す
◆平和の鐘聲に狂喜したる巴里に更らに猛烈なる大騷動惹起
◆而も從來と其質を異にし婦人を捕へて指輪迄も拔去る者在り
◆漸次惡化し來る傾向に見上尙ほ世界の平和來に隨喜するか
◆眞先に平和來に感泣したる佛國に眞先に此騷動あるは皮肉
◆露國の問題を解決せざる間は世界平和は絕對に來らずとは
◆巴里に參集したる大小各國講和委員の一致論なりしに非ずや
◆奇怪なる無國規模會議の發せられたる則ち之が爲に非ずや
◆然るに露國問題は一として未だ解決の曙光だに認る能はず
◆對獨條件は單獨調印せられたり是れ跛的平和に非して何ぞ
◆世界が人類の爲解決すべき平和問題の一半は尙今後に殘る
◆見よ國際戰爭は熄んで階級鬪爭の時代は來れり可恐惶物哉
◆戰爭開始前に萌芽したる此風潮は戰爭中に於て其基礎を固む
◆然ども外侮に由て鬩牆は姑く期せられ居たるに外ならざる也
◆平和未だ成ざる日に際しても將又休戰條約後に於ても各國
◆等しく此氣運の著しく高潮し漸次動き始めたるの觀ありき
◆而して講和會議が急遽調印を促されたる亦主として是に因す
◆世界將來に於て本問題が如何に重大に變轉するかは難推知
◆對獨戰爭の慘以下なるか或は其以上に昇べきかは疑問たり
◆結果は各國當局の技倆如何に存す國人決して等閑する勿れ

聯合
中元大賣出し
▲七月五日より十日まで
▲七月十六日は例年の通り休業仕候
京龍吳服商組合

時間表



東上した長谷川總督
久保京管局長の先導で列車に乘込まんとするところ(四日午前)

住宅問題

血も淚も無いか
斯んな家主も居る
家賃倍取の魂膽か
本町四丁目 迷惑生

私は大正五年九月渡鮮以來現住所に居を構へ開店後幸ひにも店も繁昌し喜んで居りました處が家主は先月該家を宅地と共に新町某氏に所有權を讓り渡てしまつたのです處が又々先月十日頃旭町某氏に轉賣しました其處で同番地に居住する者は皆多少の家賃の

値上げは免 れないであらう否斯る場合だから家主の要求を聞かないと云ふ譯には行くまいと寄々話して居つたのです處が案に相違して同月十四日突然立退請求の書面が來たので借家人は吃驚し談合の上家主の方に今の場合一寸家も無く閉口して居る譯を話し多少の家賃値上は承知して居りますからと今迄通り貸與方を願つたのですが家主の方からは絶對に立退けと云ふ

再告狀が參 りました借家人は二度吃驚其處で私は或方面で家主の意見を聞いて見ましたが現住人に對しては倍額の家賃請求は出來難い倍額の家賃で無くては金利に合はぬから強制手段を取つても追出さうと云ふ意見らしいのです金利に合はぬ樣なれば始めから買はずに置けば事は濟むでしよう實際二十日位の期限を與へて其れ迄に立退かなければ

相當の手續 云々と脅迫せらるゝに於ては如何とも詮術なく私も方々探して居りますけれども空家とては殆ど皆無私等も始めて朝鮮に來て始めて家を借て見たのですが家主と云ふ者は血も無ければ淚もないのでしょうか商人諸賢は御承知の通り移轉するに就ても官吏諸賢とは異なり

無形の損害 も甚だ敷く第一店に付いた得意樣に影響する處が少でないのです從前の如く空家澤山の折でしたら無理に破れた朝鮮家に居なくても濟みますけれども空家拂底で澤山の商品を雨露に打たせる譯にも行かず實に閉口して居ります

附記 住宅問題に關する末掲の寄稿が大分殘つて居るが問題に觸れたものは前掲の寄稿に依りて一應盡されて居るので此の一回を以て打切として置く。

『ご機嫌好う』の一語を
殘して長谷川總督東上
たつ子夫人も御一緒に
驛頭は見送りの官民で埋まる

過般來屢東上を傳へられた長谷川總督は三日の平和克復祝賀會を濟ますと直其翌日、即ち四日朝急遽東上の途に就いた、此日朝來雲低く垂れ徹雨屢々臻る總督はたつ子夫人と

自動車に 同乘して九時廿五分南大門驛に到著先著の官公民婦人達の出迎へを受けて一旦貴賓室に入る、貴賓室は俄に色めき渡つたが流石に名殘の惜まれてか多くの婦人方に取り圍まれながら挨拶を交される總督

夫人の瞳 は光つてゐた總督は九時五十分となるや總督はカーキ色の軍服に旭日章と元帥章を佩び軍刀の柄を握つて貴賓室を現れ見送りの朝鮮貴族に一々堅き握手を交した上山縣政務總監宇都宮軍司令官以下の官民に挨拶し久保京管局長の先導で

靴音靜かに 京釜線急行列車の中央に連結された貴賓車に入つた總督夫人は十數歩遅れて貴婦人達に圍まれながら同じく貴賓車に入り續いて村田、東條兩武官、神田秘書官、永登浦迄見送りの齋藤元帥副官が乘込むが正十時發車のベルが鳴しく鳴り出すと幾百とも知れぬ見送りの官民は或は擧手に或は脱帽に一齊に總督の健康と平安を祈る此刹那總督の鋭い眼光には温みが見へた、汽笛一聲列車が搖ぎ出すと總督は擧手の禮を返しつゝ『御機嫌よう!』と低い聲で感謝の意を表された列車は轣轆として南へ〜

國慶日を
祝福して
米總領事の大宴會

四日は米國獨立記念日とて京城駐在同國領事を始め在住同國人は一齊に國旗を揭揚して此意義ある記念日を祝したるが一方祝賀客は午前十時頃より國分李王職次官を筆頭に久水外事課長、鈴木度支部長官其他順次自動車を驅つて米國領事館を訪問し祝意を表したり尚ほ午後五時よりは總領事及び母堂の名を以て宇都宮軍司令官、兒島警務總長、久水外事課長同國各宣教師等百五十名を招待し同館庭園に於て盛大なる祝賀會を催す筈

羅南師團の簡閲點呼
九月一日より施行

羅南第十九師團にては左記日割に依り簡閲點呼を施行すべしと
▲咸鏡北道(第一區)九月一日羅南▲二日鏡城▲四日會寧▲五日清津▲十日雄基
▲咸鏡南道(第二區)九月一日咸興▲三日永興▲四五日元山▲七日稱王寺(第三區)九月一日新浦▲三日北青▲四日新昌▲五日遮湖(第四區)九月十一日新加坡鎭▲十四日惠山鎭▲十八日鎖店▲廿二日城津
江原道(第五區)九月一日平康▲二日鐵原▲五日淮川▲十日原州▲十五日江陵▲廿日長箭

東京大阪間
懸賞大飛行
本年秋と冬の二回擧行

帝國飛行協會では本年秋及び冬に於て懸賞大飛行を決行することを二日發表した右に就て長岡外史氏は語る『秋に行ふ東京大阪兩市間第一回懸賞郵便往復飛行懸賞金は飛行機に對し恩賜賞金七百五十圓同協會の賞金七百五十圓、又操縦者に對し

恩賜賞金 七百五十圓協會賞金七百五十圓、合計三千圓を優秀者一名に贈與する此往復飛行の時間は十二時間を標準とし更に之れより三十分遅き毎に飛行機並に操縦者に對して各賞金二百五十圓宛を減額する仍つて高速度の飛行機を用ふれば賞金額三千圓を優に超過する譯である尚ほ本飛行に於て速力最優秀者に對し大正十二年九月三十日迄恩賜年金として年六百圓並に協會の

名譽の牌 を贈與する規定である其時日は申込者の決定に依つて發表するが飛行者は信書其他重量八貫目を搭載して飛行するさ云ふ規定である又冬に行ふ東京大阪兩地間往復の遠距離第一回飛行の規定は一等賞金一萬圓二等賞金八千圓である此懸賞は優秀者二名に當てるのであるが前記の郵便飛行同樣其他のものには慰勞金が多額に出る此飛行は

大阪を訪 ひ空中より直に東京迄歸つて來るのである兩者とも今後回數を重ねて續々決行する筈である』

講和條約の批准
奏請までに五十日懸る
三箇國の批准が濟まねば駄目

調印の濟んだとは講和の實質が成立したとを意味するので西園寺特使の調印した講和條約の實物が著いて樞密院に諮り通過した上は御批准を奏請し之が濟んで

效力を生 ずるのであるが今度は五大國の中三箇國の批准が濟まねば何うにもならぬ日本は此批准迄には勘くとも講和條約の實物が著く迄の期間と樞密院の審議其他の手續きなどに五十日は掛るから何と云つても英、佛の方が早く濟んで仕舞ふ

使節を送 るのも我國から見れば餘程早いと思ふ兎に角三箇國の批准が終つて始めて外交代表を送る段取りだが此の外交代表を送つてる時代は寧ろ對獨國交の折衝よりも對聯合國間の交渉が可成忙しいのだから英佛などに通じた人を送る必要があらう

文展 新審査員は
日本畫は素明 清方兩氏有望

文展規則の發表に伴なつて審査員の顔觸問題がボツ〜噂に上るやうになつた中には半數改選とか全部改選とかの極端論もあるが勿論夫程の

勇斷が揮 へる筈は無い先づ日本畫部の現審査員八名は動かぬところとして故寺崎廣業高島北海二氏の補缺には結城素明、鏑木清方、橋本關雪といふ三人の選任者があるが其中素明、清方兩氏は閲歴から聲望から又は東西畫界の權衡上からも

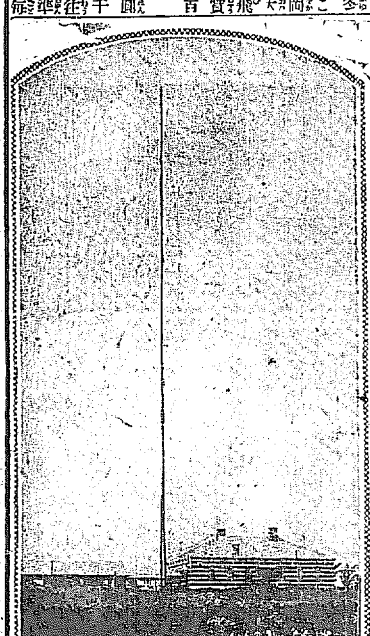
最も有望 とされてゐるので多分此兩氏の任命を見るだらうと思はれる一部では下村觀山吉川靈華兩氏を立たせるらしいといふ噂もあるが下村氏はたとへ美術院を去つても文展へは行かぬと言明して居るし吉川氏は文展に何等關係を持たぬ人であるから兩氏とも殆んど問題にならぬ次は

洋畫部で ある、此處の異動は和田三造氏の進退如何で定るのであるが氏は昨年の文展改革意見が採用されぬ限り就任せぬと言明して居るから先づ辭任と見て差支がない補缺には長原孝太郎、大田喜二郎兩氏のうち豫想は長原氏のものと見られて居る

彫刻部は 大體變りのない模樣であるが唯北村西望氏を何時迄もあゝして置けまいと云ふ議論もあるから或は増員か拔擢かの形式で任命されるかも知れぬ本年度文展審査員の顔觸は先づ如上の如く縦しあつても小異動位で治まる模樣である(東京)

驅逐艦衝突
天津風と濱風 沈没を免る

吳軍港所屬二驅逐艦隊驅逐艦天津風は一日夜佐伯灣外にて練習中僚艦の濱風の爲進路を誤り僚艦濱風の中機關部に衝突し濱風は破損箇所より浸水せるも急遽防水作業に從事したる結果沈没を免れ又天津風は艦首を大破したるも兩艦共辛うじて吳に歸港せり(吳電報)



愈々竣工した龍山の軍用無線電信

木綿物の高いのは
當業者の暴利から
勞銀を惜む爲產額激減

浴衣も四五圓出さねば着られぬ晒木綿の下帶でも一本九十錢はする始末で木綿物の暴騰は未曾有で綿絲が戰時中の暴騰狂時代にも出さなかつた二十一番手五百圓相場を突破し

六百圓 に近からんとする爲めである原因は各紡績業者が男女工を優遇せぬ爲め缺乏を來し遂に生產額減退に品不足の結果に外ならぬ併し各紡績業者は七割以上といふ暴配當を爲てゐる今大日本紡績聯合會の調査に就て聞けば『各紡績會社を通じて一梱三百五十斤を要し

此金額 三百卅六圓卅五錢で之に工費廿四圓八十錢、工賃十二圓四十錢を加へ總額三百七十三圓五十五錢である之が市場で賣り出す時は五百六十圓以上の値となるので會社は一梱で約二百圓の暴利を得て居り併も職工の勞銀は一日一人男八十一錢二厘七毛女五十八錢五厘三毛(昨年春に比して)

男でも 增額十八錢餘のみ』こいふ有樣である昨今は勞銀も多少增給されて居るが夫とても僅少で重役や高級者の成金振りに比べるとトテもお話にならない木綿物の高いのは正に會社側の暴利に原因するのである』云々

南鮮の豪雨

前月來晴天打續き中鮮地方は鬱蒸なりしが七月に入り高氣壓本邦東海岸方面を覆ひ二日低氣壓支那東海に顯はるゝに及び一般に陰濕なる天候となり中鮮以南の地方は二日より三日に亘り多少の降雨を催したるが漢江流域地方は七〇粍洛東江流域地方は五〇粍内外の豪雨ありたり尚五〇粍以上を測りたる地方左の如し(四日十時觀測所)

地名(雨量粍)	尙州 七八	晉州 六二
群山 八八	井邑 五八	濟州 八六
公州 五三	永同 五三	高敞 七〇
英陽 七二	鎭安 六〇	淸州 五三
金堤 五九	論山 六一	鳥致院 六二
順川 六〇	宜寧 五一	安東 七九
報恩 五三	大田 六一	

金剛山見物記
(一)
デモクラシーの自動車

此行三人、曰く本派本願寺連枝大谷尊由師、曰く京都崇拜者家和丹潤天洲君、曰く吾輩、尊由師のせつかちな、昨夜京城に著いて今朝七時には早や京元線車中の人となつて居る。鐵原、行く手の道順や其他金剛山に對する豫備知識の得らるゝに取りかゝる。吾輩、四年前の記憶をたどつて、無い事先張り顔をして其他目に說明する。

平康に著いたのが十時半、此處から自動車を驅つて一路長安寺に向はうとするのだ。處が此自動車デモクラシーを發揮して、外人の旅客に運轉手を加へて一行五人、ぎつしり詰まつて居るのに、石油箱を載せる、麺包を投込む、トランクを括りつける、はては京城ホテル發、長安寺ホテル行の調理材料が充滿して居る。

大きい黑い箱など車の外側に括りつける、但し、この箱だけは今夜から御厄介になる品々が入つて居るので吾等大切に守護し奉りて進む、行く程に進む程に淒麗の點々たる村落あり、惡戲なする小兒の群あり、警笛のブーブも知らぬ顔の牛兵衛を極め込んで、道のまん中に頑張る犬もあれば、畑の中を逃げ廻る臆病な牛もある。長安寺迄に轢かれた犬と鷄が一疋と二羽、乘者が乘者だけに南無とも言はずに往生したのだらうと振返れば走ばしたり、此邊の動物、轢かれつけてゐるか、それとも運轉手の腕方がうまいのか、命に別條はないわいなと云はぬ許りに自動車を睨めつけて居る。(筋雄)

味噌も値上
百目に付五厘方

京城の味噌小賣値段は是迄百目七錢五厘の相場なりしが五日より百目に付五厘方値上をなす事となれり是を昨年の今頃に比すれば二錢方高くなれる割合なるが値上げの理由は米及び大豆等原料購買の爲なりと値上げの理由は樽、包裝代の暴騰及び今秋の仕込時期に於ける原料の先高を見越したる爲めなりと云ふ、

青年の自殺

平壤陸軍官舍步兵大尉渡邊嘉邁方同居勝股治作(三六)は四日午前二時頃親族の家を辭し歸途午前三時五十分平壤驛構內に入り折柄運轉中の機關車目覺けて線路內に飛込み覺悟の自殺を遂げたり原因は目下調查中

酒値上げ
十日から實行 一升に付五錢

十日から又復酒の値上が實行されることになつた。値上高は大瓶一本に付二圓五十錢小瓶一本に付一圓五十錢であるから一升に付從來よりも五錢高となるわけである。即ち特等が一升一圓五十五錢で各等十錢落ちとなる

會寧の降雹

會寧地方にては去る二十八日午後指頭大の降雹ありて雷鳴と共に雨を交へ一時は物凄き許りなりしも約二三十分間にして歇みたるが農作物に相當被害ありしが如し

戰慄すべき
狂犬病
咬まれたら豫防注射を行へ

昨今京龍間に於て犬に咬まるゝもの尠からざるが現に龍山漢江通り十一番地阪橋忠吉長男忠兵衛(九)は去月始め犬に咬まれたるも何等手當を施さざりし爲め去る一日觀兵式を陪觀し家に歸るなり狂犬病の症狀を現はし四日狂犬病と確診され

鐵道病院 に收容されたり右に付き同院井口外科醫長は語る『一度狂犬病に罹つたら進歩した現在の醫術でさへ癒す事が出來ぬから犬に咬まれたら其の犬を認識して其筋に訴へ出ると共に直ちに豫防注射を仕なければならぬ咬んだ犬が狂犬であつて豫防注射を怠ると遲かれ早かれ狂犬病に罹つて大切な

生命を落 す事となる狂犬に頸や頭を咬まれたら殆ど狂犬病になるが手足は比較的潜伏期が長い、二三箇月して狂犬病の症狀を現はすものもある最初先づ前兆期とも云ふべきは咬傷の跡に異狀の感が生じ筋肉の痙攣を起し精神狀態が非常に不安になる或はきよと〜して少しも落付かない

時に五感 の知覺が過敏になつて體温が上るやうな事が二日乃至一週間續いて後愈々狂犬病となるのである。狂犬病は一名恐水病とも稱する、此の病毒が延髓を侵してから呼吸が不規則になり兎もすれば窒息を吐き

嚥下困難 となるが此の嚥下困難が此の病氣特有の症狀である、食物を食やうとしても飲料を飲まうとしても食道に痙攣を來すから飲食する事を恐れて食物を見ただけでも想像するだけでも非常に恐怖する川や泉の話を聞いただけでも恐怖して狂犬と同じ態度をする親身の者が其の狀を見たなら

餘りの情 なさいぢらしさに淚を零さぬはない、聽て囈言を云つたり躁やいだりしてから徐々不安を感じ多量の唾液が口からだらしなく流したりする斯くて心臟が麻痺して一命を落すのであるが中には噛狂と反對に靜狂なのがあつて最初から癡痺の病狀を起すものもある若し犬に咬れたら最後

犬の檢診 を其筋に乞ひ愈々狂犬と確定すれば直後防注射を行はなければ到底助からない恐水病で死ぬ人ほど側目から悲慘なものはあるまい』云々

偕行社演奏會

龍山偕行社にては家族慰問の爲め鳳龍間主催となり五日午後六時より龍山偕行社に於て三曲合奏あり曲目は八千代、黑髮、六段、夕顏、千鳥、里の曉、鶴の聲、玉川、殘上の松、稚兒櫻、磯千鳥、青柳、雲花の曲、硯の調、井の曲、末の契等なりと

灯ともし頃

▲二日夜旭町で眼裝の汚い朝鮮の小倅らしい少年が自轉車に乘つた儘溝に墜ち込んで腹部其他に打撲傷を負つて唸つてゐるのを通行人が發見して取敢ず瀨戶醫院に擔ぎ込んだ▲瀨戶院長は早速其負傷者を收容して充分の手當を施した上に藥までも與へて歸したので居合す人達は何れも感心してゐた▲『醫は仁術』と云ふ言葉も思ひ出されて奥床しい—と目擊した某氏の談

四平街祝典

四平街在住民一同は一日午後……

市中を練り道路順序として……

仁川郵便局には平和記念切手到著し三日より發賣開始せるが此の平和を記念する爲め平和記念スタンプ押捺の不用となりたる場合は記念の爲め長く預入者の保取の爲め其ま、交附する事とすべし……

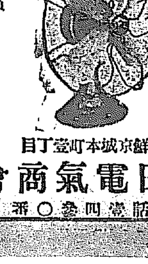
朝人港連絡船上陸客 ……

京城 合 阪 木戶錢 四十錢 割引料金 廿五錢

大正八年七月五日 京城氣溫 曇一時晴
▽日出五時十七分 ▽日沒七時五十八分

眞鍮品鑄造
御下命通リ迅速安價ニ出來マス
取手引落類其他何デモ御用命ノ程
京城本町一丁目
金物商 佐野彥藏商店
眞鍮品鑄造工場

日英水電株式會社製
純良カーバイト朝鮮元賣捌所
川北製扇風機



■電氣事業出願手續
■電燈、電力、工事設計請負
■私設電信、電話工事請負
朝鮮京城本町壹丁目
越田電氣商會
電話壹四參○番

福音!!發見!!
●定期失敗者の一大福音
小資本家大成功の捷徑
定期界に數十年來失敗に失敗を重ね苦心慘憺遂に一大秘法を發見し、爾來實行する事數年、其間連戰連勝遂に今日數百萬圓の富を有するに至れる某氏は今回本會をして其秘法を普く公開する事となれり、世の失敗者、小資本家又は安全確實に成功を望む人は速かに來つて此天來の福音に浴し成功の鍵を握られよ
絶對に損失の憂なし 萬一損失の場合は辨償す
特色 年十割以上利益配當を保證
每月一回必す利益を配當す
公債債券を以て出資金に代用方を歡迎
六月分 利益出資金に對し年十割半にて御各會員に配當せり
出資金一口金五拾圓……半口金貳拾五圓
特點 七月十日迄に御出資の方は七月分の利益配當に預る資格有
〆切……第三回七月十日限……第四回七月卅日限
詳細規定書は此新聞に五厘切手を貼付し御申越あれば直に送る
大阪市北區梅田新道交叉點南 株式 大阪信託社 內 朝米綿絲 利殖會
電話北九七八、一八一七番
振替大阪八一四七番 電略號サカシン

雨降りには
みのかさ
龍山三角地(電話六四八番)
金川商會

米國グドリッチ會社製
自働車及自働自轉車用タイヤ及チューブ各時在庫豐富、價格低廉、取扱親切
御注文次第何時ニテモ迅速積出
仁川海岸町
ベンネット商會

シッカロール
SICCAROL

アセモ、タダレ、濕疹等皮膚の疾患を治癒すべき最新劑、滅菌の効力と皮膚の形成回復を促進すべき特能を備ふる家庭常備藥
東京神田 和光堂 大阪
各地有名藥店販賣

金物銅油石炭煉炭材木靑竹セメント
土管耐火赤煉瓦各種長水院無煙炭
株式會社 中村組平壤支店
平壤本町 電話長五〇一番四〇一
水道鉛鐵管並に水道用器具、諸機械製作並に修理鐵骨架構工事一式
株式會社 中村組鐵工所
平壤柳町 電話長六〇三
耐火煉瓦 赤煉瓦 各種
シャモット 土管
株式會社 中村組煉瓦製造所
平壤橋口町 電話長二番

……せられたる樂隊を先頭として

仁川港と記念切手

……手を貼付して郵便局に差出せば……日附印を押捺して直ちに預け人……

連絡船上陸客

三日 [illegible]

婦人見學第三團

今次の見學は水源地であります京城市民が毎年夏季に困るのは水道であります水!!!水!!!水源地は何う云ふもの

見學場所　纛島水源地＝鷺梁津水源地

時日　七月六日（第一日曜日）午前九時迄に往十里（纛島驛）電車終點に參集して下さい

見學の上漢江を下る＝會費三十錢＝辨當御持參＝會員百名締切にならぬ内少しも早く＝締切五日正午日付のものまで＝遲れぬ樣御注意

主催　京城日報社

第五版

日本化せし奥の繁榮
想像以上の賑ひ戰後の哈爾賓（二）

哈爾賓市が極度に過激派に亂暴を働かれた大正六年末には柳行李に術綱を打つて今一息で引揚げて仕舞ふ筈であつた在留邦人は大正八年の今日では這んな騷ぎは昔の夢、大凡邦人の居住する家には氣持ちのいい疊を敷込んで障子襖床床縁まで日本風に切込まれる樣になるし其頃二千を數した邦人口も今では僅にこの一年有餘の間に四千といふ倍數に達し腰掛主義の事業は愈々根張を持つて百年の長計に出づる樣になつたし出兵前迄は殆ど支那人と同等の國民を以て露人から待遇せられて居た

邦人の地位は逆に露人をして支那人以下の國民なりとして我邦人から遇せらるるに至り且彼等も其分なる事を追々自覺するに至つた。尤も當市邦人の草分は娘子軍に依つて魁せられ之に從いた連中が洗濯屋散髮屋大きい聲では言へないがモヒ屋アヘン屋の白黑商氣のきいた處で國士の假面を被つた滿洲ゴロで何れも九尺二間の長屋借許りで極めて正業者が少かつた七八年前のヤポンスキーの面影が彼等の頭に深く沁込んで居た、それから次第に

三井小寺の大商が乘込んでやつとこさに邦人の面目を一新しかけた、當市の銀座通りたるキタイスカヤ街に松浦洋行梅原の一等商が店を張つたのはつい數年前の事であつたそして數年前迄は埠頭區の場末で殆ど貧民窟と同視されたモストワヤ街も今では日本市街と迄言はるるに至る程勢力を得て來で邦人の巨商軒を連ね之と交叉したウチヤストコワヤ街も將に

第二日本市街たる可しと思はしむる程邦人事業界の巨頭が集まつて居る上に更に北滿電氣會社、小寺洋行、山口公司、日清製油株式會社、三井物産等の改築大工事中それからウチヤストフワヤ街に平行した東隣のトルゴワヤ街もまた第三日本市街を作りかけて邦人の中流以下の階級が集まつて居る目下建築中の重なる物は森石商店氏の共同經營たる可き日本病院木野氏經營の北滿洲新聞社それからプテワヤ（日本遊廓街）で丸くなつた深川金太郎の借家でハルビンプリスタニトルゴワヤ街を

深川町と命名すべしと噂さるる四十有餘戸敗容の平屋、之に續て邦人の勢力下なる街路を擧げることうしてもプテワヤを推さねばなるまい之等素晴らしい出兵後の發展概觀を裏書する二三の興味ある反映を擧げると先日松花江の對岸で邦人の聯合（各種邦人團體の）大運動會が擧行せられたが數日間に何等の勸誘なしに寄附された會費がざつと四千九百七十圓[illegible]露貨に換算した日には七八萬留の巨額となる、之には何と言ても流石は哈爾賓なればこそと在留民其の者でも舌をまいたそして餘程盛澤な運動會をやつて見たが

遣ひきれずに大部分を餘して殆ど其處分に困つて居る、それからまた藝酌婦を抱へて居るプテワヤ街や傳家田あたりの日本青樓では昨年の夏頃までは各自の部屋には露西亞式に寢臺を備へて居てぶつ通しの廊下にしてゐたのだがこれでは何時までも國辱の晒け出しであつて日本風の部屋にして全部疊を敷込ませたが之では露人や支那人を取れぬから餘程營業不振を招くであらうとの各樓主の杞憂もどこへやら、昨冬更に哈爾賓番に約五十の

藝妓を容れて新規に八千久、丸木、吾妻等の大待合、料亭等が續々出來ても夕方から先になると空間は滅多にない景氣、藝妓等でも小指を持たなければ二三日前から渡りを付けて居なければ手に入らぬ始末でお客が藝者か藝者がお客かといふ有樣、約五百の藝酌婦中お茶を引く程の仕合せ者は稀であつて花街は

常に不夜城の盛である又昨年の冬から生れた北滿洲演藝館の如きも內地なら高々五錢か十錢で見られるへマな活動や芝居を一等三圓、二等二圓の入場料で常に滿員目下大江山一行の九州角力が來て居るが五圓の札を高いとも言はずに買つて居る、成程物價は高い一寸

一三人遊んでも、百圓位は貪られるけれども平氣でやつて居る所を見ると相應の仕事をして居ると見ねばならぬ、尤も當地はこの一年急速に日本化し內地で求められる大凡のものは手に入る、隨つて衣食住もこんな所に來て居て日本品に依るので素的に高價になつて居る所爲もある。また二三年前迄は

男子の和服は室內でほか用ひなかつたものが最近では夏羽織に夏袴大流行、日本吳服店が數も殖ゑたが各自丸くなつて居る、二三年前迄は下駄をはいて出るとそれは露支人から注目されて笑はれた者が今日では下駄專門の店さへ二三軒現はるゝに至つた、そして今では臆面もなく

純日本式の服裝で風を切つて濶歩してゐる、之等は如何に邦人が哈爾賓を日本化しつゝあるかを語り且其發展の底止する所なき勢ひにあるかを示すものだらう、如上の概況を以て之から吾人は聊か各方面に亘つて說明を試みやう（未完）

仁川水道水源池
婦人見學團視察豫定地

長春近事
罌粟栽培の取締（孟春軍の消息＝罌粟栽培）

罌粟の栽培は支那官憲にても非常に嚴重に取締後見次第相當の處分をして居るとの事であるが馬賊の巣窟ともいはれる吉林の田舍へ行くと地方民が盛んに罌粟の栽培をして、そして殆んど公然と沿道へ持ち出して賣拂いて居るが之れには支那官憲も手出しをせず見て見ぬ振りをして居るとうである何故かと聞いて見ると此の附近は例の馬賊が鑑對し收穫の四分とか或は五分とかの契約の下に罌粟の栽培を保護して居て萬一官憲の方で之れが禁止を命じ放棄でもさせようとすれば馬賊が出て來て官憲を襲擊するとか云ふ風であるのと兵士の多くが馬賊上りの者とて常に相方に何等か諒解を得て居る爲め之れに對して迫害を加へないとの事であるが罌粟の栽培を馬賊が保護して官憲が知らぬ顏をして居るとは一寸面白い國である。

自動車新計畫

全州南原間全州金堤間及び全州永同間に自動車運輸を營む目的を以て資本金十五萬圓の株式會社創立の議全州一部有志間に起り近く之が設立準備に着手の筈にて設立の上は先づ其第一着手として現在南原金堤間自動車運輸の特許を受け居れる山本自動車店を買收して營業を開始する方針なり（全州）

內地の鮮人勞働者
大阪のみにても三千三四百人

最近大阪方面を視察せる車田慶尙南道事務官は大阪移住の鮮人勞働者の近況に關して左の如く語れり（晋州）

戰時中諸工業の勃興に伴ない內地勞働者拂底の補充策として鮮人勞働者を移入せし結果、俄に是等の鮮人大阪に激增し男子は坑夫及び仲仕稼、女子は紡績工場の女工等に從事する者最も多く從業地は商工業の中心たる大阪を第一とし目下男子三千百十四人、女子二百四十人にて一工場主の鮮人勞働者の適否を說明する所によれば彼等は單純なる

力役勞働には體格の偉大なる關係上好適するも技術を要する勞働に至りては不適當にして尙又中には甚だしき怠慢なる者もあり紡績女工は內地女工に比し著しく劣り六七分の能力すら有せず之に反し製絲工場の

女工としては內地女工に比し優劣なきが如し原因は紡績の作業と[illegible]なるを要し熟練に困難なる結果なり。生活狀態は不規律にして鄕里へ送金するもの稀にして、收入を擧げて飮食物に徒費するが如し目下の賃金は左の如し。

大阪造船鐵工所

	（上）	（中）	（下）
日給	九〇	八〇	七〇
割增	二八五	二一七	一七八
賞與			

紡績女工

	（上）	（中）	（下）
日給	六五〇	五〇〇	四五〇
割增	〇四〇	〇二〇	〇一〇
賞與	〇二三	〇一七	〇一六

農信
慶南陸地棉

適度の降雨にて發育の程度著しく現在にては殆んど理想的の狀況にて今後梅雨を刈込み充分なれば昨年の凶作の損害を挽回するを得べし（晋州）

大日本ゴム株式會社製　自轉車用タイヤ　飾色保證　一組特價九圓五十錢　小包料二十四錢　京城大平通　振替京城二〇〇番　京城日報代理部　28

商況

株式

東京現株　至急電報

銘柄	一株拂込	四日中値 ▲印騰貴 △印下落
鮮銀	一〇〇、〇〇	▲一九七、〇〇
同新	二五、〇〇	▲一四六、〇〇
京電	五〇、〇〇	六二、〇〇
東拓	五〇、〇〇	▲九七、〇〇
同新	一二、五〇	▲六四、〇〇
殖銀	五〇、〇〇	▲五一、五〇

大阪株式　至急電報

銘柄	四日前場寄付	三日比較
大株	三五六、〇〇	九〇高
同新	……	……
日郵	一九二、九〇	三、九〇高
同新	一四四、九〇	一、四〇高
商船	一九二、四〇	一、一〇安
同新	一四一、九〇	同
鐘紡	三九一、九〇	一、二〇安
同新	三七五、〇〇	三、〇〇高
東紡	二七九、九〇	[illegible]、〇〇安
東糖	一九一、九〇	四、〇〇〃
堂米	一六五、九〇	、七〇高
上取	一五〇、八〇	……

京城現株

銘柄	拂込額	標準値段 時價（▲印騰貴 △印下落）
仁取	二五、〇〇	一五七、〇〇
鮮米	一〇〇、〇〇	一九六、〇〇
同新	五〇、〇〇	一四七、〇〇
東拓	五〇、〇〇	八六、〇〇
同新	一二、五〇	八四、〇〇
殖銀	二五、〇〇	△五一、五〇
朝郵	二五、〇〇	四〇、〇〇
滿鐵	一〇〇、〇〇	一六一、五〇
第一	八〇、〇〇	一三九、五〇
第二	五〇、〇〇	一〇三、〇〇
電興	二五、〇〇	一八、〇〇
皮革	二五、〇〇	一七、〇〇
東畜	一二、五〇	一五、五〇
朝紡	一二、五〇	二一、〇〇
朝紙	一二、五〇	二八、〇〇
商銀	二五、〇〇	六二、〇〇
滿毛	一二、五〇	三三、五〇
鮮煙	二五、〇〇	二四、〇〇

仁取稍伸惱む
一寸一服か

連日昂騰を續け居たる仁川取引所株も昨日百六十一圓の新値を現はして以來新發會後の出來高頓みに不味を呈したるこの仲買人增員、手數料値上げ等の發表遲延の爲め氣迷ひ狀態となり此上の高値飛付買ひは稍衰へたる氣味あり相場も聊か伸惱み居れるものゝ如く劣々一二圓まり口の賣物も聞ゆるに至れるが[illegible]七圓迄かゝる容易に手放し[illegible]筋に於ては[illegible]

糖株續て良好

一般に閑散氣乘薄を示せる中にあつて特に製糖株は引續き良好にて更に砂糖株類は例により異彩を放てり右は既記の諸事情により更に小口の買物を喚起したるに因る事勿論なるが主力には目下買心地の悪るき折柄なるは雜株市には他に特別の興味あるもの乏しく且つ値のまだ充分に現はれ居らざる關係に基づき專らの賣物手控へられて目前の相場を壓迫する事情の比較的薄きと之れ小口買にも値の出ね上り易き所以にして現物市場における賣物勝ちなると相待ち當分尙此形勢は持續さるべきものと觀測する向多し

株式現物賣買　仁川米豆取引所仲買人　廣澤正次郎　仁川海岸町三丁目　電話長七六番

商船買覗ける

大阪商船株は悲觀材料となり居たる船價の如きも昨今大に引返し來りて今日に於ては敢て大なる損失あらざる事となりたること配當に一割の相違あり又た內容に多少の懸隔ありとは云へ郵船に比せば大なる割安なりとして嘱望まれ居るもの・如きも同株の大手たる加島筋が高ければ依然として賣りつゝあるを以て此れに伸力を阻止せられ居る振合あり然れども加島とても巨額の持株を爲せるものなれば孰れかと云へば値下りよりも値上りを欲するは人情なれば安ければ買らずして却て小掬ひに喰ひ廻りつゝある狀態なれば加島の賣りに提灯を点じたりとて大なる利益は望まれ難く而も郵船株にして下らざる限り暴落すること如きことは斷じてあらざるべければ高値張付買は爲さずとも押目は買覗ひ針を執るが得策なりとし一般株待の跡を得るが如し

本日の商內株

堂島米穀百十三圓九十錢にて三十枚▲鮮銀新百四十八圓三十錢にて五十枚▲日本製糖百八十圓にて二十枚同新株七十七圓より八十三圓迄四百三十枚▲大株三百五十五圓にて五十枚▲新東三百三十一圓にて二十枚▲郵船新百四十一圓五十錢にて四十枚▲南滿第二新百七十九圓にて百枚▲仁取百五十九圓より百六十二圓五十錢迄三百七十五枚▲殖銀四十九圓七十錢より九十一圓八十錢まで百五十枚▲朝紡二十圓八十錢より二十一圓まで二百枚▲電興十八圓にて百枚

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　和仲買店　電話長四〇四番二二〇番　電略（ア）又ハ（カチタ）

株式風聞錄

朝鮮銀行株成金と云ふ言葉が京城現株界にある▲そのいはれ因縁を聞くに同鮮銀が此の三年間に二回にも倍額增資をしたからの儲けより出てゐるらしい▲なる程大正六年にタッタ十株もつてゐた人、その頃は百四十圓位しかしてなかつたは同年の增資で二十株の株主となり更に昨年の增資で四十株の主となつて大正六年の一千四百圓が今日では乃ち七千六百圓になつてゐるわけ▲此の外資產も增加し株主なる一千圓である新株千株に拂込み金が千六百圓▲尤も鮮銀株は新株に拂込んで引いても遂に三千餘圓の利れを計算した人もある▲年に鮮銀株五十株つて來た人は五倍、鮮銀成金の由來か知れぬ▲鮮銀の行員には株を持つてゐる人が多いでは五株か十株か持つてゐる時に新株を買つておいて今日では一廉の資產を作つたものもあるから月給生活者は金は殘らぬ▲なるべく費用を省けば月給も大なれば增すものである▲殘るものは金で金を作るには株を買ひ込んで値上りを待つに如くはないと云ふ考へが株熱を煽る▲然し減茶苦茶に買つて儲かる株やらぬ株があつたからコレで頭腦を甲の株でやつた乙の株は[illegible]と云ふ話もある如き絕對に下らぬと云ふ鮮銀株の如きも押したがあられぬうわさもあつたが事ならぬは好い戒めである

米況

東京期米特電

	三日後場	三十日前場
寄付	三六、一〇	……
高値	三五、七〇	……
安値	三五、七一	……
止め		……

大阪期米特電

	三日後場	四日前場
寄付	三五、二二	三五、一九
高値	三五、二二	……
安値	三五、二一	……
止め	三五、一八	……

正米變らず

神戶期米特電

	三日後場	
寄付	三五、三五	……
高値	三五、三五	……
安値	三五、二一	……
止め	三五、二三	……

下關期米特電

◎四日前場（雨、動機待ち）

	當限	中限	先限
寄付	三七、〇八	三六、一九	三五、七四
高値	……	三六、二三	三五、七八
安値	……	三六、一三	三五、六五
止め	……	三六、一五	三五、六五

仁川期米
四日前場（釘付）

▲第一節 今朝天候小雨各地入電延著なるも前日の保合を移して活氣振はず立會は當限出來不申中三十八圓三十二錢より五錢と辿りしも戻りは㋾の賣物に三錢と弛み先限三十八圓十九錢三丁高に寄付き㋮の買物に二十七錢と上伸せしも戻りは賣物多く因店の乘替賣りに㋙の買物も消化されて二十錢と弛み引▲第二節 當限出來不申中卅錢より四錢と辿り三錢と弛み先十八錢より七錢と辿りしも押目は買氣なく二十錢と返し十九錢引▲第三節 當限出來不申中三十二錢と返し六錢と保合ひに引▲第四節 當限出來不申中三十一錢の寄止めにて十七錢より六錢と辿りしが八錢と返し七錢引▲第五節 當限出來不申中三十一錢より三錢と辿り六錢と弱み八錢と返し殆ど釘付閑散裡に七錢と散會せり

市況は㋾店の中期に買進む一面先限賣の乘替へ商內ある外總まり商內としては[illegible]の買向ひありたるのみにて其他は概して眼先師の小口賣買に過ぎず又中限に買玉を有する大手筋は正米の强硬に安値買狙ひの好き態度あり高値は鮮く釘付に持合ひ双方新動機待ちに睨合ひ居れり

四日前場

寄付	卅八圓十九錢
止め	卅八圓十八錢
高値	卅八圓二十七錢
安値	卅八圓十六錢

◇出來高　三萬九千三百石

◈公定値段

一節	卅八圓二十二錢
二節	卅八圓十九錢
三節	卅八圓十七錢
四節	卅八圓十七錢
五節	卅八圓十七錢

▲帳入値段　三十八圓二十錢
中限出來高　一萬二百九十石
中限帳入値段　三十八圓三十五錢

市場雜觀

新甫早々一般客筋は迷はされ一向市場は活氣も振はず至つて商內も滯ひようであるが中限にて多額の買玉を有する强氣筋は相變らず安値は透さず買進んでは居る併し斯う正米がピン付いては眞逆賣氣にもなれまいが天炎季とてな氣惡い樣で九月限は足取り筋が何目されチャブ付かし競合ひにマバラをな雨模樣で人氣は大分順氣が昨日來の賣ふ傾向もあた强氣筋は警戒に先限に賣弱み手を延して安値は買も拾ひ居るが如何な賣方にして目値頃を焦るか高値は警戒しても先利喰が丈夫値は存外伸力をもて鈍く押目は防戰買ひに支へられ居る傾向もあれば結局何か新材料の出現する迄は保合此邊適

京城正米市場

期米は材料待ち釘付狀態を示し自然正米も落付き氣味なるが農繁期の出廻り不充分と物摺不引合ひ等にて賣物減切減じ荷主の强腰と依つて底意氣丈ながら期米の步調何となく下岐れの觀あると雨安樣への買氣薄に市場は上惱み下澁りといふ不動狀態にて眼先材料待ちに睨合ひ居れり

鮮白不振と袋

鮮白は近來兎角不賣勝にて人氣引立たず昨今上來四十一圓二卅錢と軟味を脫せざるが其原因は近來米高による鮮人間の雜穀代用激增せしものにして本年上半期の當地賣高は過去三年間の平均賣行き高に比し約三割方の減少を示せり

仁川正米市場

期米の保合を移して市場活氣澁なるも內地注文の尙々買來る傾向に强氣筋は手を弛めず買進み黃海道物三十七圓六十錢忠淸道神力種三十八圓三十錢見當を賣狙ひ居るも賣方急がず內地注文に應じ難き傾向もあれば益々高値に買進み大阪神著の黃海道品にて三十九圓八十錢忠淸道品にて四十圓五十錢位迄も買來る强硬を移したれば正米界は益々高含みの形勢を示し居るか如し

釜山正米市場

內地期米氣迷狀態を呈し居れるより當市場も自然不振の商狀となり相場は保合三等神力三十九圓處にて三千五百叺の商內ありたり（四日釜山電話）

三品

大阪三品特電

四日前場

綿布三銘	十五圓七十五錢
七月限	五七七、〇〇
八月限	……
九月限	……
十月限	……
十一月限	……
十二月限	五一五、一〇

綿布持合氣丈

大阪三品昨後場大引は當限五百七十九圓九十錢當限五百十三圓現物白石二十手五百四十圓鐘太四百九十三圓綿布三銘は先物十五圓九十錢と總て喰かりの移りを入れ當市中氣配も更に氣丈の成行きながら需要閑散の折柄入荷極めて順にして玆在荷潤澤にもあり依然買人氣乘り薄く何れも恰好の安値狙ひといふ風情なる一面買入も初秋の需要好調を見越し强いて手放しを急かず相變らず賣らる安し買はば高しといふ市況にて粗布三エー現物四百四十五六圓先物二十一圓三十錢見當を持合居れり

橫濱生糸電報

（三日正午發＝午後八時三十四分總督府入電）器械太糸上一格二千三百二十圓穩いて買氣あり未だ染みて商談を進めざれども當品は値入中のものあれば弗

大相撲　讀者優待割引券　併　平壤興行中　京城日報社

豫報　[illegible]　低氣壓　不明

ひ機に熟するを待ちて端境相場の實現を演ずるならんとは一般局の豫想であるが兎に角內地は當するが未だ順氣を恐れて無茶に買込んでも肝心の正米や諸物價の頑こして居る間は安心買りも出來まいとは强氣筋の意向であら今朝も立會は昨夜の雨と阪地のボンヤリを移して人氣變らず當限は例に依りて出來不申で中限は三十八圓三十二錢より五錢と締り三錢と釘付けに先限三十八圓十九錢と三丁高に寄付き二十七錢と引き伸したるも戻りは買物絀かず因店の乘替にて中限を買ひて先限を賣く賣込しが內地電報の延著で市場一般氣迷裡に一向活氣振はず釘付け相場を演じ居るが商內は至つて閑散で內地相場も保合なれば一般客筋の氣迷ひするも無理のない事なるが腰入甚深なる硬軟は阪地の動機待ちに見送り居れは此の保合分れは如何に分岐するか大に興味あらう々折合を見るに至るならん何となく買れ模樣に思はるゝ所あり

雜報

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町　齋藤榮之助　電話長三六七、三六九　電略（サ）又（ヤマサ）

砂糖天井知らず

過般來暴騰に次ぐに暴騰を以つてせる砂糖は其後益々破竹の勢を示し今回建値三十三圓を報じ前報に比し更に三圓方の躍進を示せるが現下の精糖各工場は海外注文に忙殺され朝鮮方面の注文に對しては殆んど賣止め同樣の態度を取るに至れる爲め當業者は常に持品手薄を感じ從つて市價變動の影響も急速にして今朝は三十七圓乃至八圓見當に引締まりたるが前記建値との採算は三十九圓五十錢に當れるのみならず大勢は尙幾段の上値あるや測り難き勢ひなれば四十圓の實現は目睫に迫まれるものゝ如く强氣一派の裡には既に五十圓說を唱へられつゝあり

羅紗先高見越

羅紗類は休戰後歐米方面の需要依然旺盛にして各本國產地は供給難に伴ひ價格漸次に騰貴の一途を傳へ自然本邦輸入手控へ勝にあるを以て更に輸入の見るべきものなく綿物オバー地の如き殊に拂底にして來る冬物は主として本邦製品の供給に待つの外なき現狀にして其內地品は又供給充分ならざれば其結果は自然價格の騰貴を促がす事となり最近氣配五分方引締まり本年二三月頃の安値を拔くに至りしが尙久しく商談中絕せし西伯利方面も露國の恢復に伴ひ弗々ながら取引行はるゝに至りしより今後時期の推移に連れ品薄と俟つて意外の活氣を呈すべし

清酒愈値上げ

內地酒は既報產地高を受け當地酒商組合に於ても疾くに値上げの噂さありしが同業協議の結果愈々大樽一丁二圓五十錢半樽一圓二十五錢瓶詰各一箱一圓二十五錢小賣一升に付五錢方を引上げ來る十日より之を實行する事に決せり元來灘火の値上げは近年の例となり來れるが最近容器たる樽の値上がりをも受け且つ稅關鑑定價格の引上等を合せ豫期以上の値上げ賣行を見るに至れり而して眼先値上の好景氣と諸物價の漸騰乃至秋米の高見越し等により內地は更に高模樣を報じ居れば八月に入り今一回騰火の値上斷行は免かれざるべし

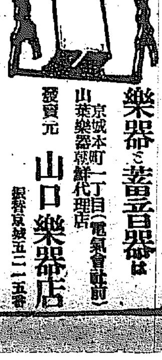
燐寸漸次强硬

燐寸は輸出の好況を傳へ漸次上向步調をなし此邊市中値は一時競爭時代にて四圓以下に落込みしもの昨今の十五圓七八十錢に引返し尙採算上引合ひさあつて近く十六圓をも振かんとする形勢なるが大阪產の劃安維持により移入品は幾分伸力を殺がれ居れる振合ひあり

鐵材前途樂觀

講和後の需要氣構へにて一般金物界が昨今頭を擡來れるに拘はらず鐵材界は在荷の比較的豐富なるに加へて其他の海外主要產地の市況に壓倒せられて引續き無活氣の狀態を脫する能はず漸業者中既に轉業せるものさへあり最近英米南市場よりの情報によれば歐洲各國は昨今漸く戰後の復活事業に着手し爲に鐵道水理其他の各種材料として鐵材の需要頓に增加し米國一流會社にては新規注文を謝絕しつゝあるものも尠からずとの事にて一面本邦內地に於ても財界の復活に連れて新規需要の起れるに加へて支那南洋方面よりの引合も弗々入り來れる等四圍の事情著しく緊張しつゝあり最近民間有力者間に於て製鋼所製品一萬五千噸の南洋輸出計畫されつゝ居るが目下の內地市價を以てする時は輸出採算引合點に達し居れるを以て斯界も既に一轉期を畫せるものと見るを得べく前途漸く樂觀せられるゝに至り

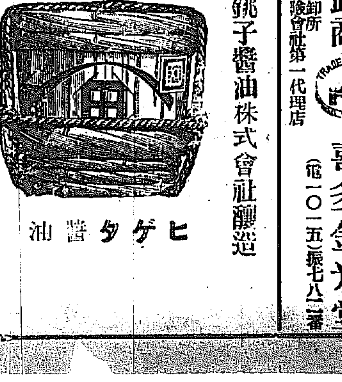
眼科專門　入院應需　江頭眼科醫院　京城明治町東拓横（電話二〇四四番）　日曜祭日午後二時迄　江頭富雄



樂器と蓄音器は　京城本町一丁目（電氣會社前）　山葉樂器京城代理店　發賣元　山口樂器店　振替京城五二一五番

營業創立明治二十八年　各時計卸商　貴金屬製作卸所　帝國火災保險會社第一代理店　京城黃金町二丁目　喜多金光堂　（電一〇一五）振七八二番

千葉縣銚子港　銚子醬油株式會社釀造



代理店　京城明治町二丁目　發賣元　櫻正宗　山邑京城支店　電話長八四九番・一四五四番　振替貯金口座京城七五番

專賣　柳織トランク　皮より強い理想的の　◎其他旅行用具一切　◎魔法瓶及中瓶取替　京城本町一丁目　電話本局二五四番　高木旅行用具店

▲セメント著荷　京城古市町　若米地商店　電話九四一・一〇八番　振替京城五三一二番

繭　賣買　問屋　乾燥　規則申込次第進呈

龍山驛前　㊉　東亞蠶絲會社　蠶種　本社特製白龍　定價一枚金七拾錢也　▲郵便局ナキ地方ハ郵便切手御送付ヲ乞フ

痔疾專門　京城明治町二丁目（本町より入る中央）　京城久枝肛門病院　電話一一〇二番

京義線（北行） 同（南行） 京仁線 仁川行 馬山線

日本名刀傳 九十六

東京 田邊南龍講演

五郎正宗（廿二）

之れを聞いた正宗、住職こも懇意にして居るし、其の寺に摩利支天が勧請してあつてそれへも時々參詣に來るし、女達が皆困つて居るこ云ふので氣の毒に思ひ、つまり狸か貉の仕業であらう、畜生の分際こして人間を弄ぶこは憎くい奴、何こか退治る工夫はあるまいかこ考へたが、一日自分が精神籠めた短刀を懐中にして寺を訪ねた、住職は喜んで出で迎へ 住『これは能うお出でなすつた、梅雨があけたので急に暑くなりましたの 正『御住持御老體いつも御壯健で結構でございます 住『まア妾は幸ひご達者でな、藥一つ呑んだこともないんです、けれご困つたこごには法弟共に大病人が三四人出來て看護しようこ云ふ者も皆少しづゝ氣分が惡く、此の寺はもう自滅するより外無いこ云ふ次第、誠に困つたもので…… 正『それはお困りでございませう、今日は餘りお暑いので早く仕事を切り上げお庭で少々涼まして戴かうこ存じて上がりました、それに螢が大層風情が好いさうでございます 住『ハイ當寺は昔から螢の名所、此庭の池の畔には奇妙に大きな螢が出來ます、けれご近頃夜になつては庭を歩けません、何だか大きな入道が出るこか申しては 正『ハゝゝ、孔子も怪力亂神を語らずこか申されて、世に左樣な馬鹿氣たこごはござりません、もう少々暗くなりましたら、手前はお庭を歩かして戴きます 住『誠に相もない、お止し遊ばせ 正『イヤ〳〵御心配なさいますな』こ四方山の話をして居るうちに日が暮た、正宗は住持の止めるも聽かず、ブラ〳〵庭へ出て池の畔を歩いて居る、涼しい空はドンヨリして漸く足元が見える位、螢を見るには極く好い風は遠の海の方から吹いて來る、正宗心に油斷なく築山の此方から離座敷の沓脱石から縁へ上がるこ果して白衣の大きな入道がヌツこ現はれた、正宗は兼ねて聽いて居るのに狸狐などが人をだますのに正體は後にあるこ云ふから、前の大入道には構はず、突如後を振返つて短刀を半ば抜くこ、ギラリ光つた名刀の靈に打たれ忽ち大入道は影をひそめ、縁の隅に黒いものがうなつて動けないで居る、正宗は畜生の血で刀を汚すのも勿體ないこ、矢庭に左の手を伸べて怪物を押へ付け短刀は縁の上へ置いて、今度は右手で怪物を掴んでビシヤリ沓脱石へ叩り付けた、怪物はギヤツこ云つて手足をもがいて居る 正宗はカラ〳〵笑つて『案外にもろい奴だ』こ二三度怪物を掴んでは大地へ叩り付た、寺の爺は正宗の安否を氣遣つて提灯をつけて見に來たか 爺『先生、ごうなさいました 正『怪物は確かに退治た』こ提灯の火で見るこ年を經た大きな狸でありました、それより此寺には怪しきこごが無くなつた、全く正宗の刀で怪物は影をひそめ正體は動けなくなつたこ云ふ評判がパツこ立つて、正宗の刀は靈刀なりこ云ふ噂が擴がりました、もう一つ正宗の腕前の優れて居るこいふ評判の立つやうになつたのは今日でも現に存じて居る、京都華頂山智恩院の大谷寺の釣鐘の環の御話でございます

七月六日

舊六月九日 日曜日 ▲つちのとひつじ ▲五黄 ▲友引 ▲ぞく

▼五黄 ▲心に迷ひを生じ易き日
▼六白 ▲正しき事なれば思つた通りに之れを爲して一切吉なり
▼七赤 ▲こんく〳〵拍子に機みのつく好き日萬事進んで利益あり
▼八白 ▲結構な美事な日にして或は意外の利益あるべし萬事吉
▼九紫 ▲願つたり叶つたりの好き日にして萬事に用ゐて吉なり
▼一白 ▲思惑の外れ勝ちなる日
▲二黒 ▲心正しければ吉運にめぐり遭ふべき日、萬事進んで吉
▲三碧 ▲當ての外るゝ日なり
▲四綠 ▲ちよつこ、さまよふ日

演藝案内

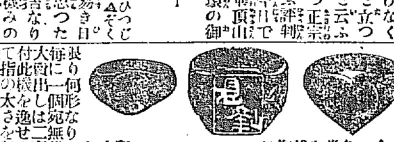
喜樂館 本町一丁目 電話九七番 館改 平和記念特別大興行 當る七月四日より
○實寫 信州信濃善光寺御開帳 ○滑稽 旅行中の不思議 ○米國ヴ社特作品
◎人情活劇 汝の罪 全五卷 ○松之助劇の眞價は世界的に認められたり ○今回佛國より注文に接して製作せられたる日本映畫界代表特作品 ○日本連續寫眞の權威大阪每日連載
◎水戸黄門漫遊記 全九篇十八卷の內七卷上場 我國の忠孝節義を武士道を以て骨子とせる大映畫にて其撮影費五萬圓從來の數百名の出演にて空前絕後の傑作 喜樂館に於て特に封切 毎月一日十五日土曜日晝夜開館

壽座 京城本町 電話五七八 ▲壽座新藥に付愈々最終大興行 劇喋島會文藝外男女優大一座 五日午後六時開演（十七回目狂言）
▲やろか染 ▲花瓶ト土瓶 三場 ▲裸一貫 二場 ▲反魂香 三場 サッポロビール會社大々的後援

大正館 黄金町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店 當七月四日より特別大興行料金普通
◎實寫 大阪名所見物 ◎曲藝 道化師 ◎長尺 鐵の爪の姉妹篇世界的連續冒險劇 第二回 七眞珠 第五六篇 悲絕慘絕!!水火の責!!地下の牢獄…

浪花館 京城明治町 電話二六〇 ▲納涼興行諸藝大會 當る七月五日午後六時より開演
▲落語 笑福亭笑太郎 ▲輕口 笑話 社中 ▲落語 橘家六三 ▲筑前琵琶 富士嬢 ▲浪花節 ▲落語 ▲相撲甚句 ▲娘義太夫 ▲劍舞 ▲餘興 茶番

◎金指輪 無代進呈
美を好むは人情なり身を装ふは經濟之を許さゞるは此の金は金張なりアイデヤ…



商金華堂本舗 東京市神田區佐久間町二

アザなまづ そばかす・ほくろ・イボ等の醜貌に困難の人はハガキにて申込めば學理的實驗上其效力確實なる他に類なき化學應用劑を惠送す 東京市神田區小柳町 平帝藥院

痛を止め 膿を去り 尿を通ず
リン病 アラヒ藥
複方タルリソン
本劑は如何なる重き淋病こ雖も之を用ふれば直に其效現はれ又患者適宜に溶解し用ふるものなれば腐敗の虞なく且携帶に便なり
商標 注意 ウサギ印
價 二十五錢 五十錢 七十錢 壹圓
本舗 大阪市堂島元饅橋 高橋盛大堂本店
賣 同心齋橋筋博勞町 高橋盛大堂分店
同 東京市神田柳町 高橋盛大堂出張所
到る處の藥店にて販賣す

京城學校組合告示第四號
大正八年度京城學校組合歲入出追加豫算左ノ如ク組合會ノ議決ヲ經タリ其ノ要領左ノ如シ
大正八年七月三日 朝鮮總督府京城府尹 金谷充
歲入 第一款 經常部 繰越金 追加金六百五拾四圓 … 合計金四拾五萬七千七百八拾圓
歲出 第一款 臨時部 第一項 … 合計金四拾七萬千六百貳拾四圓
差引殘金ナシ

諸車製造 樫板卸商 福岡市中多片古居町 村上李三郎 電話二二五番 振替一〇七七

御召工合良き靴 登錄商標 定價表呈 要二錢郵券 東京芝區櫻田伏見町角 內田靴艶店

大口歡迎 黄金町長橋入口 電話二九一六番 田村質店 商品擔保取扱便利

中元大賣出し
御手輕にて御便利なる 商品券 調進仕候
倍安品澤山取揃申居候
京城 丸一吳服店

人蔘ニ優ル強壯劑
淫羊藿エキス（いんやうくわくえきす）
通稱三枝九葉草エキス

適應症 一、思考物忘及び神經衰弱 二、讀書計算の疲勞を癒す 三、筋骨の疼痛を治し又疲勞を恢復す 四、產前產後及病後の衰弱 …
主效 神經衰弱 貧血症 胃腸病 …
定價 …
全國一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
京城特約店 山北岸島天佑支堂店

世界に類なき 別府温泉の 數十町歩に亘る海岸砂湯で 三ヶ年の實地試驗を經て益々效果の確實を示せる
日ヤケ止めこしての
ホーカー液
お顏の色を白くし 化學的に脂肪や汗の分泌を調節し肌理を細に艶を増し 皮膚を若々しくす
□キメを細に色を白くす
□日ヤケ肌アレを完全に防ぐ
□白粉下トキ水こしてよろし
□男子の髭ソリ後に極めて妙
定價 大八十錢 中四十錢 小二十錢 送料內地六錢
ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髮液
本舗 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 電話神田一四三一長一四四一四五 振替口座東京一五六

御園

御料御園化粧品

ねり製	御園白粉
液化粧用	御園固煉白粉
水白粉	御園の月
粉白粉	御園の花
打白粉	御園撫子
懐中用	御園紙白粉
濃厚化粧水	御園四季の花
化粧水	御園の露
液化粧下	御園の雫
洋風化粧料	御園クリーム
花精	御園香精
化粧香水	御園の橘
頭髮水油	御園香油
粉製歯磨	御園歯磨
日燒防止料	御園ルチゲン

品質も效能も第一位

十數年來引き續いて高貴の御料に召させらるゝ御園白粉及御園化粧品は純良無比の精選した原料を用ゐ、永年の經驗を積んで居る熟練した技師が調製して居りますので、其品質も亦效能に於ても常に日本の化粧品界に第一位を占めて居ります、されば御園白粉及御園化粧品でお化粧遊ばすと、肌理は細かく滑らかになり、お顏の色艶は生々した美しさを増し何處となく上品に興床しく見えます。（六九二）

御料御園白粉本舗 伊東胡蝶園 御料御園白粉發賣元 丸見屋商店

尼崎汽船出帆
仁川木浦下ノ關大阪行 △赤心丸 七月 日後四時 △神代丸 七月 日後四時 △秀吉丸 七月 日後四時 △君が代丸 七月 日後四時 △大有丸 七月 日後四時 △第一運輸丸 七月 日後四時
○印乘客御斷 △印二等船客無 仁川海岸通二丁目 電話五九番 高杉回漕部

大阪商船出帆
（仁川出帆） 大阪行 △安東丸 七月 日正午出 △信濃川丸 七月 日正午出
（元山出帆） 清津行 △安平丸 七月 日後十二時 釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 △安平丸 七月 日後九時出
（大連出帆） 上海、基隆、打狗行 ●湖北丸 七月五日前六時出
內地各港出帆主要航路 歐洲行 一年四回 北米行 毎月二回 南米行 一年五回 濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月一回
御注意 …
大阪商船株式會社仁川支店 電話二一〇番 五〇番

五光商會汽船出帆廣告
◎元山、西湖、城津、清津行 第三吉祥丸 七月 日釜山發 ◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三吉祥丸 七月 日元山發
釜山 大池回漕部 元山 同 回漕店

朝鮮郵船出帆
敦賀行 清津、城津、元山經由 立神丸 七月 日清津發
浦汐行 城津、清津經由 …

京城日報
（年中無休刊）
定價 一部金參錢 壹箇月七十五錢▲郵稅 拾五錢郵送前金▲參箇月前金貳圓六拾錢▲六箇月同五圓廿錢▲壹箇年同拾圓▲郵券代用二割增
廣告料金 五號十四字詰一行一圓五十錢 同特別二圓 同三號七字詰同二圓 ▲二號八字詰同三圓 ▲四號九字詰金一圓五十錢 ▲六號十六字詰金一圓
發行兼編輯人 奥田直樹 印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社 電話番號長六千九番 長六千九番 振替京城三〇〇番

總督上京

京城日報

長谷川朝鮮總督は昨四日を以て上京の途に就かれたり。總督今回の上京は、中央政界に於いてかねゝ大なる注意を以て觀望し居れる所なるを以て、種々の評論、種々の臆測が、又もや遠慮なく飛び出すことならんと想はる。當地にても氣早の連中は、長谷川伯の懷には必ず辭表の潛みあらんと臆測し、早くも後任總督に就いて品定めを爲すものなきにあらずと雖も、そは餘りに太早計にして、且つ政界の事情に迂なるものといはざるべからず。最も長谷川總督の辭意を懷抱せるは年來のことにして、若し李王世子御結婚の事（こは延期となりしも）李太王の薨去、引續いて例の萬歲騷動の勃發なかりしならんには、或は本年の初に於いて、其の本意を遂げられたるやも知るべからず。然るに上述諸種の關係が、長谷川伯の進退を羈束し、以て今日に至りたるものなるが、今や騷擾も既に鎭靜し、伯の責任に一段落を告げたるの觀あるを以て、或は此機に於いて、年來の辭意を貫徹せんとの希望を懷かれ居るやも知るべからず。否、多分其の希望に相違なからんも、それには各種の先決問題の伴なふあり、先づ之を解決したる後にあらざれば、伯の希望の貫否を斷ずべからざるなり。騷擾に對する善後策は固よりいふまでもなく、一般統治に關する刷新振作は、中央政府も總督府も共に其の必要を認め居れる所なるを以て、總督の上京を機として、其の方針の確定を見るならんと信ず。蓋し現在に於ける朝鮮の施政は、併合當時の方針、或は遡りて統監時代の取極を因襲する頗る多く、時勢の變遷は、到底其の株守を許さざるものあり。俗諺にも十年一昔といへば、此際更始一新の必要あることは、何人も否認せざる所なるを以て、騷擾善後策と共に、問題は必然茲に及ばざるべからず。更に近來喧しく傳へらるゝ總督官制改革問題の如きも、現內閣の方針は文武併用に在ることを信ずべき理由あるを以て、是亦同時に議定を經べきものならんと思料す。かくて是等の諸問題の確定したる後、長谷川伯の辭意到底移すべからざるものあらんには、こゝに初めて後任者物色の問題に入るべし。而も幸に適當なる人物を得ば、伯の宿望は貫徹し得べしと雖も、若し其人を得る能はざるか、或は其人ありと雖も、今直ちに後任を承繼し難き事情あらんには、暫く伯の留任を見ざるべからず。是れ伯の一身上に取りて苦痛たるに相違なしと雖も、奉公心の强烈なる伯として、恐らくは快諾せらるゝ所ならんと信ず。

且夫吾人一己の私見を以てせば朝鮮は目下小康の狀態に在りと雖も、裏面に伏在する暗流は、寧ろ三月一日（即ち騷擾勃發の日）よりも危險性を帶び居るを知らざるべからず。即ち彼の約三箇月に亘りたる騷擾の結果、一般鮮人の心理狀態に著しき變動を起したること、並に西伯利或は上海邊より輸入する危險なる思想と陰謀とは、斷わず鮮人を惑亂するのみならず、今や亦大なる力を以て朝鮮の天地を壓迫しつゝあるを以てなり。此際に於ける朝鮮治安維持の大任は、悉く總督の雙肩に在るが故に、輕々しく更迭を斷行するが如きは、決して國家の慶福を齎すものにあらざるなり。暫らく記して事の成行如何を見んと欲す。

小學生の體育に就て

第二の健全なる國民を作らんとするは吾等の義務也、我社は小學生の體育に關しては、常に主張する處あり、今世界大戰の終結に際し、平和克復の記念として其の可なる者を採て之が實行を慫慂せんとするに當り、汎ねく江湖諸君の輿論に聞かんと欲し、敢て標題の如き題下に諸君の名論卓說を叩かんとす、奮て投稿あらん事を希望す

京城日報社

國際聯盟と主權（承前）

法學博士 上杉愼吉氏談

聯盟にして成立せば之に加入する國家は最早國家に非ざるなり國家の名空しく存するも主權を有するの國家に非ざるなり世界は一大聯邦と化し各國は其の支分國たるに止まるに至らんとす而して聯盟の有する强制權力なるものは聯盟各國共同の權力なりと云ふと雖も各國の國力に顯著なる差等あり必ずや强大國家の覇權を掌握するに歸すべきは勢ひの當然なり恰も舊獨逸聯邦に於てプロシヤの獨り專らにせるが如きのみ聯盟は各國の軍備を或る程度に制限する事を定めたるも之不公平の最も甚だしき物也。國力は軍備のみには非ず國土の大小人口の多寡を初めとし物質の種類と數量と諸工業の發達せると、勿稱ならざる國土の地位と形勢と其の他凡百の關係を要素とす若し悉く之を均一にして然るのちに各國平等の基礎の上に聯盟を建設せば或は聯盟の理想に達すべしと爲すべきも獨り軍備を制限するは各國國力の不等を益々不等ならしめ大國をして聯盟に覇を唱へしむるの素地を成すのみ軍備の制限は小國をして自ら守るの力を失はしめ唯々として聯盟を背後に負うて世界を支配せんとする大國の命に之れ從はしむるに便せしむるのみ軍備を制限すると雖も大國は徐々に軍備を整へて小國を壓迫せんこと容易なり平時軍備を設けずして徒に財富を積み一旦戰爭あらば大艦を造り大兵を養ふは大國の獨り能くする所にして小國の到底能はざる所なり吾人は國際聯盟を目して英米の世界併合なりと云はんと欲す古來世界を統一して之を其權勢の下に結合せんとしたる者少からずと雖も皆失敗に歸せり世界歷史は統一と分立との波浪なり古の併吞を企つる者は武力征服を以てせんとせり今や國際聯盟の新形式を以て世界を併合せんとす前途知るべからず吾人は日本の加奈陀、濠洲、印度、南阿の如き英國の領地又は植民地と聯盟に列して英の諸侯の如き觀あるを見て憤慨に堪へず、あゝ我が國の將來を如何（完）

米國視察雜感（七）

宮舘貞一氏談

私は兩三回傍聽したが日本に對しても頗る同情を持て居る人で其演說の一般世人に及ぼす感化力は頗る大なるものがある私は是等の人こそ米國一般の民衆をして安心して其前程に上らしむる丈の正確なる指導を與へ得べき大人物であり換ふべきものゝなき程に貴重なる一國の眞の國寶であると云ふ感を與へられたのである。宗敎的の感化は無論米國のみではない。英國の首相ロイド、ジョージ氏も深く宗敎的感化を受けた人で、曾て大藏大臣たりし當時、氏の鄕里なるウェルスの一國會議員は氏を訪問した際、氏は熱心にウェルスの大說敎家『ジョンバッヨンス』の說敎集を耽讀して居たが『こうだ實に堂々たるものではないか』と其の說敎の意味を訪問の議員に說明したさうであるが、當時氏は大藏大臣として實に折衝最も多忙を極め通常の人ならば此種の閑事業に沒頭し得べき餘裕のない時であつたから議員は强くロイド、ジョージ氏の人物に敬服したと云ふことである。米國の國民性とも稱すべきものを擧げると先づ米人は如何にも創造的の勢力が旺盛だと云ふことで是れは個人性の發達が何等拘束なく遂げられることに依るものと思ふ。其の結果は色々の方面に現はれ個人間に於ては固より各州と州とを比較して見ても夫々特有の制度特有の設備を有し且つ是れを實行しつゝあると云ふ狀態である又私の關係して居る警察方面に於ては各國に比し一頭地を拔いて居る即ち犯罪人に對しては單に罰するだけでなく根本的に改悛せしめ不良少年の感化に至つては米國が獨特の考案を爲しつゝ歐洲諸國が夫を學ぶと云つた狀態で不良少年の心理學的檢査を爲る爲裁判所には專門家を置き精神上の缺陷のある者を匡正するの方法を講じて居る。次に米人は物に間に合ふと云ふ長所を有するのである。今回の大戰に於ても米國として軍隊の人數を揃へる事は不可能事でもあるまいが是を指揮統率する所の將校の養成訓練と云ふ點に至つては一朝一夕に出來る譯のものでないと云ふ理由から專門家をして非常に興味ある問題として注意せしめたが米國は何うなりと二百萬と云ふ大軍を編成するに要するだけの將校を僅々六七箇月と云ふ短期間を以て造り上げた手腕には專門家をして驚嘆の聲を發せしめたのであ

鍊膽錄

盤珪和尚

三笑生

◇盤珪禪師は、大石義雄や、加藤泰興等の雄藩の諸侯を始め、當時の碩哲であつた。◇其修業時代には、隨分骨を折つたもので、千住の橋の下で、坐禪をすることが多かつた。或る時、馬乘の堤に假臥して居ると、一人の武士が乘馬の稽古を始めた。和尚が默つて見て居ると、馬が思ふ樣に走らぬと云ふので、頻りに馬を責めて居る。和尚は之を見て『エイ、何の態だ』と大聲に呶つた。武士は聞いて而も顧みずトットと乘り廻して居た。馬が和尚の前に來ると『エイ、何の態だ』とまた呶つた。而も知らぬやうに騎ること三回に及んだ。◇その武士は、和尚が尋常の僧でないことを見て取つたので急ぎ馬より飛び降り、ツカツカと和尚に近づき『前刻から遠吠に拙者を叱られるやうであるが何か敎へることでもあるか』と問ふた。すると和尚は『馬が正しふないと責むるより、何故に先づ自身を責めて心を正しふせぬか』と答へた。武士は『成程』と合點がいつたので、自身を責めて、更に馬を試みるに、馬の正しきこと思ひの外なるを知ることを得た。其の武士と云ふは松浦鎭信の家臣であつた。◇和尚は、元祿六年九月三日播州網干の龍門寺に入寂した。入寂の前、門弟子達が、切に遺偈を請ふたが和尚は『老僧は、世に居ること七十三年、人の爲に說法敎化すること四十四年、我が半世の間、諸人に示した所悉く皆遺偈ぢや、この外に別に遺偈として特に作るべきものはない、世の諸禪師の最後を眞似をして、最後に臨んで、世に疑を生ずることは、老僧は眠ぢや』と正坐したまゝ大寂定に入つた。◇今日は今日の佛法、明日は明日の佛法、日々佛法の全盛なる行持を營み、何日死ぬると云ふに至つては、蓋し圓熟の極致である。膽氣を鍛錬すると云ふも何日如何なる大事に會するも、大丈夫であると云ふ迄に、其の平常底總て是れ鍊心の心得が無くてはならない。是に至つて初めて全身是れ膽と云ふことを得べきである。

浪六先生著 俠骨三人男 新刊
皮肉なるかな浪六先生いたるところ我利々亡者の行列に似たる今日の世の中に呆れ返り癇癪玉の遣り場に困つて面當分に本書を世に出さる眞に骨鳴り肉動く痛快深酷の一大傑作
痛快無類の傑作
東京市下谷區根岸町 帝國出版協會 振替四三〇一七番
裝幀口繪著者自畫 四六判特製頗美本 定價金一圓八十錢 郵送料內地十二錢
（發賣所 神田錦町 誠文堂）

祝平和克復
京城府大門通二丁目
株式會社 朝鮮殖産銀行

國民必讀 快著出づ 喜ぶべし
平和の青年
陸軍中將 佐藤鋼次郎閣下新著
國防學者として政論家として一大權威ある著者曰く『日本人は戰爭には强いが、平和に處するは頗る拙である、戰後に於ける我官民の失態を見ては先づ國民を改造しなくては到底列强と角逐し得べき見込はない、青年は如何なる心得で來るべき平和に處すべきか、先達は如何に青年を指導して國際競爭に處すべきか』と、この見地より本書がうまれたのである。
文章は多趣味な小說體で肩の凝らぬ讀物であるが之を味へば皆悉く濟生經國の大文字青年砥礪の活敎訓ならぬは無い。青年は勿論軍人も敎育家も萬民等しく讀まねばならぬ一大快著である
壹圓 郵稅六錢
株式會社 博文館 東京本町

御手本類何でもあります
習字（目錄送呈）
東京神田區南神保町九番地（九段電車通り）
精華堂法帖店

簿記
通學 寄宿 校外生 募集
本校は簿記學專門學校にして明治廿五年の創立…
東京芝區櫻川町十一
日本簿記專修學校

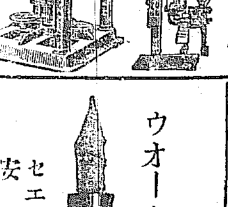
漢學講義錄
新學期開講 大特典提供 目下入學の最好機 速成一箇年卒業
本會講師は漢學專門大家にて講義平明簡易斯界第一の講義錄也
講義錄見本付會則無代進呈
振替口座東京一二二九四 神田今川小路二ノ十一 帝國漢學普及會

京城府貫鐵洞一一九番地
金濟昇內科醫院
電話二四二四番

時計貴金屬品の御求めは今!!
京城本町貳丁目
村木時計店
電話四七一一番 振替京城三一九〇番

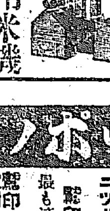
世界的發明 國家の誇り 個人の經濟
恐る勿れ事務の堆積十人分の仕事只一人易々と處理し得べし
上田式銀行ペン
本品の提供に依り現代的事務家の渴望を醫す權威ある本品は陸海軍諸官廳銀行諸會社學生間に多大の賞讚を博せり
壹號特價金壹圓貳號貳圓五拾錢何れに求めらるも同値段直引なし各地到る處の文具事務用品店にあり若し無き地は發賣元へ
發賣元 大阪市南區鍛冶屋町五〇 上田式銀行ペン製作所 電話南百八番 振替口座大阪四七五四八番

敷島籾摺機



本機は壹馬力半動力を以て一時間三十五石乃至四十餘石の玄米を得 新中越式カタログ贈呈す
大阪市西區江戸堀北通三丁目 株式會社 今橋商會 電話土佐堀二壹八二番 振替大阪一四四〇九番
東京市芝區櫻田久保町 東京支店
廣島市猿猴橋町 廣島出張所
福岡市博多上呉服町 九州出張所

專賣特許
八千代精米機
精石數特別號六十石以上
本機の特長
一、損減僅少にして精白潔白
一、麗佳良なる事
一、精白は無砂混砂自由なる事
精石數壹號十四石以上
酒造精米に最も適當
敷島精米機



廣告
蠶繭貿易大販賣
販賣期間（自七月十日至八月十日）
咸南新興郡邑內
新興貿易商會

東洋文明の權威
大本多日生猊下が世界改造の機運に際し東洋文明の權威を高唱せる最近の大著

理想の萬年ペン
ウオーターマン 新荷着
セエフチー萬年ペン 全安
四十二號 六圓五十錢
七百四十二號 十八金卷 八圓五十錢
萬年ペンカタログ申込次第進呈
京城本町 篠崎文具店

名 ニッポノホン 揃
お待兼の七月新譜
お中元の贈物や 夏休みのお慰みに
ニツポノホン蓄音器と鷲印レコードとは最も適した品で御座います
鷲印（兩面盤一枚）定價金壹圓貳拾錢
どんな所が吹込まれたか 頼んで頂たい七月新譜 其他目錄特進呈 西洋新譜も御座います

長唄	淸元	常磐津
楠公（兩面四枚）	三千歲（兩面三枚）	釣女
芳村伊十郎 杵屋佐吉 他	淸元喜久太夫 淸元順三郎	常磐津和歌太夫

芝居 忠臣藏 十二ヶ月 七八段目
管樂 汐くみ 海軍々樂隊
同 ゴールデン サンセット／グランド ミリタリー タトウー
生田流箏曲 八重衣 山口巖 松本秋水
浪花節 三千歲 金子市 虎丸
この外流行ピアノ、ヴァイオリン合奏、小樽の追分、秋水氏の尺八獨奏の小唄、緋子のさのさ祭ケ枝くずし等
東京市京橋區銀座一丁目（京橋際） 株式會社 日本蓄音器商會 電話京橋二五七、二五八番 振替東京一三二八〇番
芳村伊十郎氏吹込み
鷲印レコード 曲

對獨條約實施期

戰時手段實施迄繼續

對獨講和條約は各國の批准を經ざるべからざるを以て之が實施迄には約一箇月を要すべく尚對獨封鎖を始め現在の戰時手段は右の期間内繼續せらる可し（倫敦電報）

條件履行に努めん

獨逸全權委員聲明

獨逸全權委員ミューレル及びベル兩博士曰く獨逸は有ゆる手段を用ひ條件履行に努むべし若し協商側が右條件實行不可能を發見する場合は彼等自身の利益に顧み或條件は是を訂正する必要あるを悟るべし又協商側は獨帝の引渡要求を固執すべしとは信じ難し、獨逸中央政府は波蘭を攻擊する事を援助せず獨逸は將來聯盟に加入し得べき資格ある事を證明すべく努力す可し（桑港電報）

三頭會議　獨抗議

軍艦自沈と佛國々旗燒棄

三頭會議はスカパフローに於ける獨逸軍艦乘組員が其の軍艦を自沈し佛國々旗を燒棄せるに對し獨逸に强硬なる抗議を提出するに決したり（巴里電報）

名譽の死を擇む

ヒンデンブルグ元帥の言明

ヒンデンブルグ元帥は獨逸軍總司令官の職を辭せり　この說あり尚ほ元帥は講和に對する態度聲明を要求されしに對し『余一身は軍人として不名譽の講和よりも名譽の死を擇む』と言明せり（巴里電報）

模範法作成委員

日本全權委員珍田伯捨巳子米國全權委員ハウス大佐並にシモン氏は獨逸前植民地管理に就き模範法を作成す可き特別委員に任命されたり（巴里電報）

軍事會議に命令

三大國首腦は最高軍事會議に對し獨逸にして東部國境確定條件を履行せざれば波蘭に彈藥を供給す可き計畫を案出し置く可き事を命令せり（巴里電報）

獨逸漸く紊る

政府顚覆陰謀

激烈なる市街戰行はる

獨逸にては現政府を顚覆し軍人執政官制度を設置せんとの軍人陰謀派ありとの說あり尚伯林漢堡には激烈なる市街戰行はれ多數の死傷者を出せるが之れ該陰謀の先驅ならんと傳へらる次に東普魯西、伯林間交通杜絕しシャイデンマン、エルツベルゲル兩氏は遁亡を餘儀なくせしめられたり（倫敦電報）

叛逆運動の一部

漢堡叛徒の橫行

伯林來電＝漢堡の叛徒は市役所を占領し市民歡呼の裡に義勇隊を監獄に闖入せしめ囚人を釋放せり目下委員十二名にて市政を掌握せり尚政府軍は秩序恢復の爲め進軍の途中にあり今回の騷擾は全國に亘る大々的叛逆運動の一部なる可し（巴里電報）

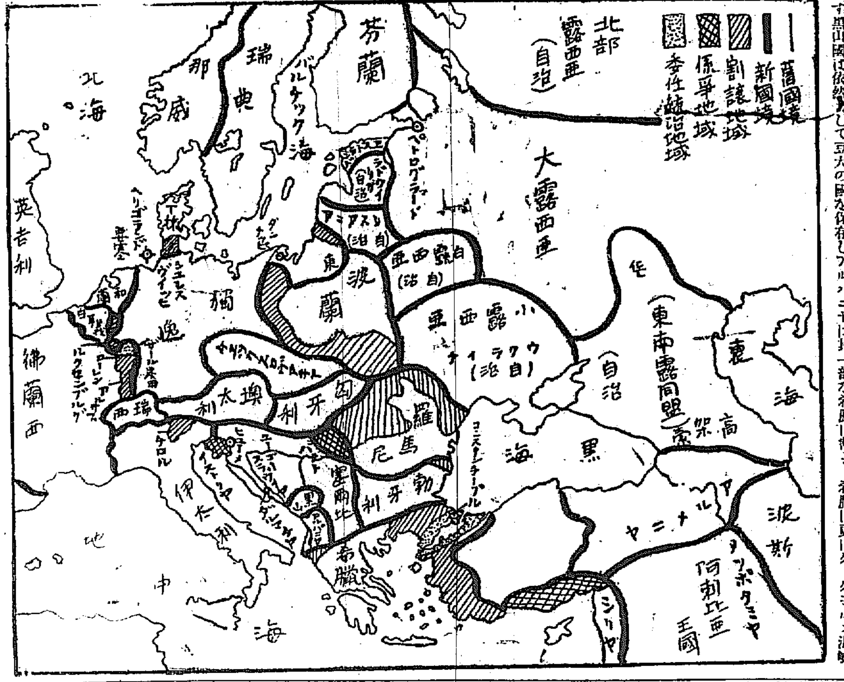
重大騷擾惹起

伯林戒嚴令＝ス團の活動

伯林來電＝不正食料品供給及びスパルタカス團の活動に因り惹起されたる重大なる騷擾の爲め伯林に戒嚴令布告されたり該騷擾中多數の死傷者を出しスパルタカス團は主要停車場を占領したるが市民義勇隊之を奪還せり（巴里電報）

圖面說明

改造の中歐諸國は恰も戰前の巴爾幹を大くしたるが如き觀あり露西亞に於て過激派を取圍み新興國は雨後の筍然と起り來れり、芬蘭の獨立を筆頭に、北部露西亞、エストランド、ラドヴイリカ、リスアニヤ、白露西亞小露西亞及ドン地方の東南露同盟等何れも獨立し更に東方西伯利のオムスク政府が加ふる時は過激派の天下たる大露西亞は全く重圍に陷れる者と云ふべく問題の波蘭は復活してガリシヤの全部及獨領波蘭の地を占む而も此隣にはチエックスロブアキヤの新興國の出現を見又匈牙利は墺地利と分離獨立羅馬尼はトランシルバニヤの地を割き取り二倍大の國となれり、而してバナトの地は係爭地として殘れり一方勃牙利は嘗て羅馬尼に取られ居りし一部を回復し他は現狀を維持するを得たり大戰の火の元塞爾維は南スラブ族を合して共盟主となり所謂ユーゴースラブイヤ國を建設す黒山國は依然として豆大の國を保存しアルバニヤは其一部を希臘に割き、希臘は更にダーダネルス海峽ボスポラス海峽の兩岸國際委員統治を除きたる歐亞の土耳其の地を領するに至れり斯くて土耳其は遂に驅逐され更に後方のアルメニヤ亦獨立しパレスタインのシリヤ新興國を現出せり土耳其の地中海に面せる海岸の地は今やアルメニヤとシリヤの係爭地として存在せり伊太利はチロルの山地を取り問題のフューメはユーゴースラヴイヤと伊太利は係爭中也、斯くて墺地利老大帝國は見る影もなき一小國化せり、獨逸は波蘭に東方を奪はれ東プロシヤと本國の間を中斷されんとして唯ダンチヒの地が住民投票にて去就を決する事となれり、佛蘭西はアルサス、ローレンの地を遂に恢復し北佛破壞の賠償としてザールの炭田を要求したるも十五年間委員統治の後住民の意志に依て去就を決する事となれり白耳義に隨するか佛蘭西へ隨するか未決の儘也白耳義はリエージ要塞の東方獨領たりしマルメディ附近の地を取つて面目を施し丁抹は其昔獨逸に取られたるシレスブイッヒ等の地を恢復せんとしたるも此處も亦住民自由投票に依つてその去就を決する事となれり



政府の宣言書

伯林來電獨逸政府は獨逸國民に布告を發せり曰く「第一講和條約に規定されたる處を履行すべし第二銳意職業に從事すべし（第三）業務に忠實なるべし」宣言書は更に附記して曰く此の條約の暗澹たる前途に吾人の目に映ずる唯一の活路は一致協力職業に從事し獨逸國と國民の存續を計るにあり（ルータル電報）

匈牙利首都暴動

將校連軍艦を强奪＝巨魁逮捕さる

匈國首都ブタペストに反革命運動勃發し將校連はダニユーヴ河上の軍艦を强奪し砲兵々營を占領せり尚は暴徒は强奪せる同艦より三度步兵營建物を砲擊せるが遂に暴動は鎭壓され巨魁は逮捕されたり（巴里電報）

加奈陀罷業擴大

加奈陀に於ける同盟罷工は漸次擴大しつゝあり（倫敦電報）

獨逸の染料輸入

米國戰時通商局は合衆國にて必要とする限度に於て獨逸の染料を輸入する事に決し右に關する規則を公布せり（華盛頓電報）

東宮殿下行啓

長野縣下へ

東宮殿下には四日午前五時半東宮御所御出門濱尾大夫、小川武官長、入江侍從長其他を隨へさせられ同六時十五分新宿驛御發車長野縣下へ行啓あらせられるが同驛には三條皇后宮大夫、松浦傳育官長各宮殿下御使其他多數御見送り申上たり（東京特電）

原首相歸京

令兒一週年法要の爲め一日盛岡に歸省せし原首相は郷里にて歡迎を受けたるが四日同地發歸京す可し（東京特電）

總督一行通過

長谷川總督及び夫人は秘田秘書官を隨へ四日午後七時四十五分到着直ちに連絡船新羅丸にて東上の途に就けるが途中より佐々木慶南道長官見送りの爲め同行釜山驛には官民多數の見送りありたり（釜山特電）

石井大使歸朝

石井駐米大使は三日橫濱著郵船諏訪丸にて歸朝す（東京特電）

秋山長官出發

青島民政長官秋山雅之介氏は四日午前九時半大連發東上の途に就けり（大連特電）

東煙增資說

東亞煙草會社は近く資本金を七百萬圓とし市場株券賣買を禁止され居る件は殆んど自由賣買に等しきまでに緩和さるゝ由と傳へらる（東京特電）

滿日經營者更迭

村野氏經營

滿洲日々新聞社は今回政友會總務現大阪新報社長村野常右衞門氏經營する事となり袋中楠右衞門氏業務を擔當する筈なるが村田前社長辭任と共に重なる幹部は退社す可しとの說あり（大連特電）

大倉公望男

鐵道院技師大倉公望男滿鐵入社の爲め三日附休職となれり同男滿鐵入社の上は運輸課長の要職に就く可しと傳へらる（東京特電）

在鮮會社現況

本年五月中に於ける銀行會社計此拂込資本は新設に係るもの十五件此拂込資本金百七十萬二千圓にして既設會社の拂込に係るもの十八件此資本額百五十七萬八千圓合計三百二十八萬餘圓なり其內譯左の如し

會社名	事業種類	拂込額（圓）
朝鮮産業	農業	六二、五〇〇
忠淸興業	同	五〇、〇〇〇
不二殖産	鑛業	一二五、〇〇〇
東亞煙草	工業	一二、〇〇〇
朝鮮窯業	同	二五、〇〇〇
朝鮮印刷	同	一〇〇、〇〇〇
特許セメント	同	一二五、〇〇〇
鬼頭商店	商業	三五〇、〇〇〇
法聖浦海陸物産	同	一二、五〇〇
合資會社德興	同	一〇〇、〇〇〇
齋藤製絲	同	三〇〇、〇〇〇
成北社	同	五〇、〇〇〇
白山貿易	同	三五〇、〇〇〇
扇井商店	同	五〇、〇〇〇
朝鮮企業	同	一二五、〇〇〇
豆滿林業	林業	一五〇、〇〇〇
大田皮革	工業	一〇〇、〇〇〇
木浦電燈	瓦斯電氣	一二〇、〇〇〇
大興電氣	同	八八、七五〇
大田電氣	同	二五、〇〇〇
大昌貿易	商業	一二五、〇〇〇
大二商會	同	一〇〇、〇〇〇
統營海産	同	三〇〇、〇〇〇
會寧貿易	同	二五、〇〇〇
興業社	同	六二、五〇〇
仁川米豆	同	四七七、五〇〇
新義州木材	同	五二、五〇〇
朝鮮物産	同	七五、〇〇〇
鮮南拓産	同	二〇、〇〇〇
慶南銀行	銀行業	一二五、〇〇〇
大邱銀行	同	一七五、〇〇〇
鮮南銀行	同	七五、〇〇〇
釜山共同倉庫	倉庫	五〇、〇〇〇
淸州電氣	瓦斯電氣	二四、一六〇
朝鮮時報	商業	二〇、〇〇〇
金堤軌道	運輸	六〇、〇〇〇
合計		一、七〇二、〇〇〇

右の結果により四月末に於ける銀行會社現在數並に拂込資本金を其の組織別事業別に示せば左の如し

組織別

種類	社數	拂込資本金
株式會社	[illegible]	七〇、一七三、〇〇〇
合資會社	[illegible]	三、八四三、〇〇〇
合名會社	[illegible]	二、六四五、〇〇〇
計		七六、六六一、〇〇〇

事業別

種類	社數	拂込資本金
農業	一六	四、四一二、〇〇〇
林業	五	三五〇、〇〇〇
水産	一	五、〇〇〇
鑛業	五	二、五〇〇、〇〇〇
工業	一七	七、七五六、〇〇〇
瓦斯電氣	一三	一、四八二、〇〇〇
商業	二八	一一、九七九、〇〇〇
特種銀行	二	二九、一九七、〇〇〇
普通銀行	一六	六、六三五、〇〇〇
金融信託	六	二、五五六、〇〇〇
運輸	一九	一一、五九七、〇〇〇
倉庫	六	四四九、〇〇〇
合計		七六、六六一、〇〇〇

關稅改正希望

京城商業會議所の答申

京城商業會議所にては四日鈴木度支部長官に宛て左記關稅改正に關する答申書を提出せり

關稅の影響

する所は頗る廣汎にして殆んど社會の全般に亘るものなり從て之が改正に當りては各々の方面より推究して過なからん事を期せざるべからず例へば國家の立場より見るときと財政收入の點より見るときと産業保護を目的とする時とは自ら稅率改正上に多大なる相違を生ずべく且つ近時の輿論とも見るべき經濟政策上より見る時は其間利害錯綜したる處もあるべし是等を調和して偏頗なからしむべきは宜しく當局の任とする所にして商業會議所の如きは到底是等全部に亘りて

具體的意見

を定むること困難にして商工業者が直接關係する事實以外に調査を進むるを得ず故に當會議所評議會の決議によりて作製したる附錄移入關稅率改正案の內容は專ら將來の移入關稅に限定せり其の要旨は移入關稅制の統一關稅制の實施により內地現行關稅率の適用さるゝものと見て之を除外したり移入關稅は勿論內地と併合の實を擧げ經濟上久しく障壁を築きて以て獨立を守るべき理由なければ然れども社會上又は財政上內地と事情一ならず單純なる理論に共鳴し決を

一任し難し

且つ夫れ朝鮮は其面積殆んど內地の本州に匹敵し帝國の領土として實に重要なる位置を占むるも山河荒廢し住民亦窮乏せしからず雖も將來開發すべき利源に乏しからず或る程度迄は優に自給自足の經濟を保ち進んで內地に多大の食料及原料を提供する事を得べし而して之を現實に

朝鮮の産業

を甚しく壓迫し其發達を阻むものあるときは保護稅率を設定せんとするものあり但し朝鮮の事情は内地供給品たる工業品の一切を保護するにあらずして特殊の産業のみを其恩典に浴せしめ其他は一律の自由貿易主義を實行せんとするに外ならず收入關稅の適宜に設定せんと欲するは財政上の必要に依るものにして朝鮮の最大多數者たる消費者の利益とするものなれば朝鮮の財政の現狀に照して吾人は必ずしも關稅の改正を望むものにあらず若し之を改正することゝせば內地と共に全然外國と看做し假令朝鮮に産出せざる貨物と雖も收入の好財源と見るべきものは課稅せられん事を希ふものなり

思ふに本春

の不逞鮮人の騷擾は既に表面平靜に歸したりと雖も彼等の心的狀態は未だ必ずしも常ならず却て陰惡の度を加へつゝある兆なきに非ず此の心的傾向は必ずや租稅の徵收に影響を及ぼすべし斯の如き際に當り租稅未納者に對し强制執行を遂行するが如きは朝鮮總督府が既に財政獨立を標榜せる以上は其面目上萬難を排し人民の負擔の加重を厭はずして之を遂行すべきも次で種々の稅率を引上げて得られる所の收入は甚しく僅少にして內鮮人共に甚しく危惧の念に驅られ居る際移入關稅を撤廢しても斯の如き時に方りては宜しく負擔の公平を期し

多額の收入

を得やすき關稅を存置するに如かざるなり然れども財政上のことは多く識する

を欲せず更に朝鮮の社會事情に顧るに交易狀態は年々改良せられつゝあるも未だ部落經濟の苞想を多く脫せず五千有餘の市場存續して獨り活動し需給の調節機關として郡縣以下の部落は未だ此の域を出でず是れ內國に於ては既に數百年前に經過し終れる所にして經濟發達の階段が未だ甚だ低きを語るものなり此事實は朝鮮の産業界が未だ保護關稅制を採用する程度に達せざるを證するものにして此點より考ふるときは移入關稅のみならず輸入關稅をも共に之を全廢して完全なる自由貿易制を採用し收入關稅を存すべきが如し然れども此部落經濟の裡に在りて併合以來經濟上の諸機關は殆ど

面目を革め

所謂國民經濟の成立に驀進しつゝあり而して其間に發生したる新規の産業は廣き市場を有し既に保護關稅設定の時期に到達したるものも少しとせざるべし此等事情に顧みて保護關稅及收入關稅の兩主義を併用するを適當とすべし朝鮮人社會の民度は甚だ低きものにして購買力生産力共に大ならず此の點より見るときは産業上の必要品たる機械器具等を無稅として生産力の發達に資し朝鮮に生産し得べきものは假令原料品なりと雖も關稅を課して朝鮮産業の競爭力を養ひ其發展を望まざるを得ず而も朝鮮人は由來郡縣制の弊風のみを經驗し著しく

責任觀念を

消磨し封建制の訓練を缺きて協調力に乏しきが故に産業の奬勵の如きも亦一層の困難あるものなり故に彼等の事業に對しては保護に過ぎず又た自由放任に過ぎざるを要す且つ鮮人の思想經濟に就ては一層奢侈に流れ易き傾向あるなり此に依り奢侈品の如きは高率の課稅を要する所以にして此の點は具體的の稅率を示し難きも決して看過する能はざる所なり

京畿道棉作狀況

京畿道に於る今年の棉作狀況を聞くに栽培戶數五萬七千四百十戶播種反別二千二百卄四町六反にして內高陽郡に一町四反、廣州郡に三反、振威郡に一町、富川郡に八反、坡州郡に二反合計三町九反に發芽を見ざりし外發芽後の生長佳良なりと

獨人土地讓渡

獨逸人世昌洋行カールウオルターは其所有に係る仁川本町四丁目二番地所在坪一千二百六十坪を仁川居住、吉金宮三郎、大林宇三郎、村谷吉藏、廣池亭四郎、竹中多計吉氏、外二十一名に金四萬圓を以て讓渡すこととなり其筋に許可方申請中の所七月三日附讓渡人代金を受領したる時は直に之れを仁川支店に預入すべしとの條件にて許可されたり

東拓株暴騰

增資氣構へ

東洋拓殖會社の增資問題は同社五月の總會に於て既に若干の端緒を出せる譯あり爾來東拓株の買氣は漸進狀態を續けるたるが四日に至り東京現株至急電報は舊株九十七圓新株六十四圓を報じ之を前日に比し一躍舊十二圓新十五圓の暴騰を報ぜり材料不明なるも增資問題愈々具體化せんとするにあらずや而して東拓の增資は全額拂込みを要せず決行し得る事となり居れり

東京株式爆發

東京株式は大阪高を移して四日前場に至り大爆發を演じ休日前に比し東株三十九圓四十錢高新東四十六圓高の奔騰となり第一新二十六圓高第二新十八圓高と孰も近來稀なる大暴騰を示したり又現物に於ても鮮銀新舊各二圓高東拓は一躍十一圓五十錢高同新十六圓高鮮銀一圓高の好勢也

大阪は反動安

東京に先走りて爆發したる大阪株式は四日後場に至り一般に三五圓方の反動安を演じ殊に最近獨り舞臺の觀ありし砂糖株は昂騰の急激なりし丈け其反動も稍ひどかりしもの如く東洋糖の一躍十三圓九十錢安は特に目立ちたる方なり

平安丸入渠

朝鮮郵船社の日本海鐵新航路就航船立神丸は入渠修繕を要する事となりしにつき來る七日淸津入港後直ちに神戶に出帆すべきかその間代船として平安丸就航すべく爾二航海にて立神丸就航すべし

人事消息

▲藤原正文氏一行　支那交通部顧問藤原正文氏並に大藏省より北京出張中なりし森正一郎氏一行は歸朝の途次五日夜入城一泊歸東の途に就くべしと
▲松本誠之氏（哈爾賓新聞社長代議士）北程內地より入城天眞樓に投宿中のところ五日朝出發哈爾賓へ
▲松永京畿道長官　楊州郡に於ける鐵南共同販賣參觀の爲五日同地に赴き即日歸任の筈
▲入澤重麿氏（靑島守備軍民政部事務官）四日門司發御用船にて赴任
▲大久保到氏（全北第一部長）四日夜入城浦尾旅館へ
▲松本誠之氏（代議士）同天眞樓へ
▲本岡元山商議副會頭　四日朝退城
▲八東松昌洋行技師　同上

鳥瞰錄

近頃中産階級と云ふ語が非常に流行し出したが中産階級とは漠として居るので齋藤隆吉博士は之れが日本に適應する定義を下して曰く▲相當に衣食足り而して知識あつて人倫道德を辨へ之を實行せんと努むる者▲此二條件を兼備する者でなければ中産階級とは云へないと、之に對して▲『愛嬌に生れ、面目如何』でも評價に詰め寄せられた時『食つたり着たり』と答へるより他にすべなき御連中に對しては衣食階級の名を與へよ▲金がある丈けの奴等を上流又は中流など呼ぶのは以ての外だ▲彼の山田憲鮮辨事件なども所謂中産階級と衣食階級との鬪爭と云ふべしだ是は面白い▲朝鮮の諸君以て如何となすかね▲敵國人財産の管理に關して內地では大分奇談もあるらしい▲富山縣では富山市在住の宣敎師が縣內唯一人の敵國人であつて早速其財産を調べて見ると▲此宣敎師元來恬淡無慾で管理すべき財産と云つては自轉車一輛ある許り▲其でも管理令により縣廳の屬官一人管理者に任命されたが管理すべき自轉車と云ふのは十三年前とかに買つたもので賣拂つた處で幾何にもならぬ▲結局の費用倒れには縣廳の方でオヤ〳〵〳〵▲前號本欄の矢野氏談中日米電報一節十萬語とありしは五十萬語の五の字がぬけてゐたのだから訂正しおく

東京現株（至急電報）

[illegible]

大阪株式（至急電報）

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

仁川期米

鮮付き「千鈞」と强みしも阪地電を報じ居りたるが阪地の强硬とを示し居るも正米市場は內地輸出の買進みに益々活氣を帶ぶるも報の延著と內地相場保合ひに市場不活氣の折柄◎店の買物に二十八錢と引締りしが自先意外の安値は望まれず

◇夜越　取組高　中限二萬二千二百　先限一萬四千石
◇公定　[illegible]

朝鮮及滿洲

七月號出（百四十五號）毎月一日發行　▲定價一冊四十錢　一年分郵稅共五圓半年分二圓六十錢

平和克復と日本◎腕力か正義か……釋尾東邦
◎東洋民族親善と無差別觀……鎌田榮吉
◎朝鮮統治と恩威並行主義……田中善立
◎支那の排日運動と朝鮮暴動……東京　大空子
平和後の世界（平和後の經濟戰……片山　戰後の英佛……宮館）
◎國運伸暢の根本義……大野
朝鮮時局觀（政治と時代……松平　時局に對する余の雜感……有賀　總督政治新私見……南山隱　朝鮮代議）
◎朝鮮の時局を如何に解決せんとするか……釋尾旭邦
當面の問題（運輸問題と大連市民の態度……石田　住宅拂底緩和策……中野　上下水道の現狀……某技師）
騷擾者を收容せる西大門監獄を訪ふ……一記者
代議士の朝鮮と時局觀（朝鮮騷擾の原因は根據深し……井上　總督政治を一新す可し……守屋　朝鮮は意外に活況なし……山口）
小說　戀に破れて……小林榮子
附錄　講和條約及聯盟案全文
發行所　京城南山町一丁目　朝鮮及滿洲社　電話二五〇

◆兵戰は既往五年間◆商戰は今後五年間◆
戰後有利の商品は倉庫に商況は透さず我商報上華客を待つに通ず
砂糖、麥粉、油、雜穀
酒精、燒酎、洋酒
食料品、化粧品
諸雜貨、藥器類
東洋海上保險會社　大正生命保險會社　代理店
釜山港　福榮商會　卸商　電話長八九八・一〇八一
大邱本町　福榮商會出張所　電話長六四九
釜山港辨天町　福榮商會小賣部　電話長一〇三・九三

祝平和克復
東洋拓殖株式會社
京城支店

購買廣告
石炭　豆油　木材類
骸炭　スコップ外一點
右購買ス詳細七月五日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府平壤鑛業所

一鉛筆當局封度
右購買ス詳細ハ七月五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

一棕櫚繩五萬尺
右來ル七月八日午後一時入札
希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ
京城府

一十二封度輕便軌條半哩外參點
右來ル七月八日午前十一時入札
希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ
京城府

京城長谷川町　中田會成社　電話二一〇五番　振替京城四七六二

祝平和克復
平壤電氣株式會社

祝平和克復
平壤黃金町　齋藤酒造合名會社

祝平和克復
中元大賣出し
平壤大和町　丸京吳服店　丸橋吳服店　久川吳服店

婦人見學團前記

申込み殺到す

最う十數人で滿員
お子達の同伴は考へ物

近所の水源地見學の計畫は發表以來非常なる歡迎を受け毎日多數の申し込み殺到します、既に定員百名までに餘す所僅に數名となりました、如何に御希望は多數であつても何分船の都合が付ませんので滿員後のお申し込みは殘念ながらお斷り致しますお申し込みに對しては例の通り往復葉書の返信用を

會員證として 夫々御送付申して居ります當日は右の會員證と會費を御忘れにならぬやう御注意下さい、其からお子供さんの同伴について御照會の方が澤山御座いますがお子供衆はなるべく御同伴なさらぬ方が見學上御便利でしよう殊に今度の計畫は船の乘降も御座いますから其邊も御考へ下さる事が必要だと思はれます。次に船にお弱い方は

船暈を心配 して居られるやうですが之は鏡の如き漢江を下るのですから多分大丈夫だらうと思ひます夫でも萬一の用意に船内に各種の應急藥を備へ付け京畿道水道係からは態々お醫者樣を派遣して下さいます今度の計畫では往十里から纛島まで約三十町の路程を歩くだけで其他には格別大した路程もありません纛島迄の卅町も冷たい

朝露を踏み ながら徒くのですから決して苦痛ではなからうと思ひます服裝は云ふまでもなく輕裝が第一です御携帶品例へばお辨當の包みなぞには名札でも付けて置かれたならお預かりするにも都合が好からうと思ひます

一日の見學は千巻の書を讀むにも勝る
高本高女校長の談

尚松永道長官は這回の計畫に多大の賛意を表され此計畫は頗る有意義なもので必ず主婦に適切な智識を與へるに違ひないと云つて居られました又高本高女校長も『甚だ結構な企てです日進月歩の今日ですから如何な方でも智識の補充更新が必要です此意味で我々敎職にある者に講習會などがあるやうに一般婦人にも讀書や研究が必要であります然し家庭にばかり居ては讀書研究が出來兼ねる場合がありますが御社の見學團の如き計畫は短時間の中に非常に深い印象と的確な智識を與へ百巻の讀書にも勝る次第ですから當校職員にも學團參加を勸めたいと思つてゐます』と語られました

一億二千萬圓の煙
敷島が一番好く賣れる

昨年四月から今年三月末迄即ち大正七年度に於ける專賣局の煙草賣捌状況を見ると口付で一番賣れるは敷島で續いて朝日、大和も却々旺盛を極め此賣上代金は五千二百四十萬七千七百五十二圓、之れを

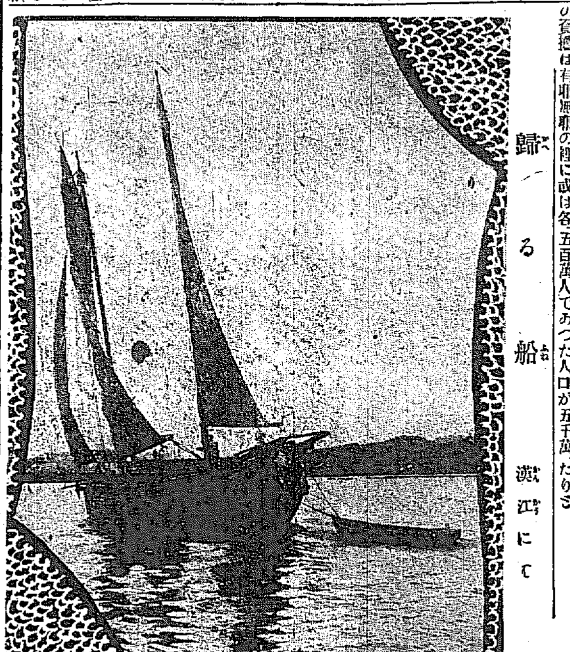
前年度に 比較すると一千七百七十五萬五千五百十圓の増加である、兩切はバット、スター、リリーと云ふ順で此代價は昨年度より三百十二萬二百六十六圓増しの一千四百六十二萬七千百七十三圓を示し叉

刻煙草も 六千二百四十七萬六千三百四十九圓と云ふので去年よりも六百五十七萬九千九百四十五圓の増加で結局專賣局として七年度の賣上高は一億三千五十八萬九千五百八十六圓、之に

輸入葉巻 内地葉巻を加へると日本に於て七年度に煙にした煙草の總額は實に一億三千七十五萬二千八百十六圓と云ふ巨額で而も各方面に於て喫煙家が旺んに増加してゐる事實が觀取される(東京)

政務總監の時計
タツタ十一圓五十錢

山縣政務總監の閑素主義も久しい者だが先日總督官邸の宴會の席で偶々時計の話が出たすると總監は腰に収めたる時計を出して一同に示し其評價を求めた▲持人が持人であるし何う見ても新式のプラチナとしか見られぬので唯大分高いでしようで値を著ける者がない、客の一人がまァ五百圓位ですかと聞くと何時でも讓らうが先づ功能を言へば之れでも時間が正確で且ラジュームが裝置してあるとかで暗夜でも時刻が判り至極便利である▲而して代價は漸く勿れ十一圓五十錢で六七年前東京三越で見附出た餘り氣に入つたので七つ程買つて來て小林や兒玉杯官房の連中に土産にしたが先づ時計は斯う言ふ物に限ると言はれたので流石の總督や美濃部さん等もナール程と感心して居つた



歸る船 漢江にて

憐れ獨逸の慘状

人口は劇減し
國民は疲弊困憊す
復活は容易の業に非ず

戰勝に輝く 聯合國側に引換へ戰敗國の獨逸の悲慘は想像の外である、大正三年八月以來休戰迄に獨逸が失つた兵數は約二百萬殲失者約七十萬にて此間に費された戰費は獨逸の六百卅億圓を筆頭に敵國側合計九百六十億圓の巨額に達して居る之の負擔は有耶無耶の裡に或は各國に在留する獨逸人の財産と差引したり或は土耳其、勃牙利等に

少額宛負擔 させたり地方分割等の形式で大半は完了して仕舞ふ形勢である獨逸は講和成立してアルサス、ローレンの兩州を佛國に分譲した結果前の戰傷者を概算すると戰前六千五百萬人であつた人口が五千萬乃至五千五百萬に減少し剰へ經濟上何處を叩いても鼻血の出ない程の窮境に陷り海外資金に依らなければ産業の復活さへ覺束ない現状である此亡國に近い

獨逸は更に 講和談判の結果千九百二十一年までに二百億馬克、千九百二十六年迄に四百億馬克、其後國状の許す最少期間内に四百億馬克合計一千馬克(約五百億圓)の償金を聯合各國に支拂はなければならぬのである、之れを假りに人口五千萬人と假定して計算すれば老幼男女を問はず一人當りに就き千圓以上の負擔を新に背負込んだ譯で戰前の獨逸ならば兎に角

今日の如く 疲弊困憊し居る實情では容易ならぬ事である、此償金の負擔は人口減少と相俟つて少くとも戰前の數倍に達するのであるから之をどう解決するか今後吾々の注目すべき興味ある問題である(東京)

官吏を優遇する

政府は大正九年度より官吏の臨時手當を廢止し五割增俸を行ふのみならず更に優遇の道を講ずべしとの說あり(東京電報)

歩兵伍長自殺を遂ぐ
上官から叱責され申譯の爲に

第十三師團朝鮮派遣獨立大隊第五中隊全北南原守備新潟縣生れ歩兵伍長松田豐四郎は去月十五日勤務上の事にて上官に叱責されたるを恥辱とし申譯の爲同日午後二時頃兵舍内に於て軍銃に實彈を裝塡し咽喉部に擬し右足にて引金を引き見事に自殺を遂げたるが不意の銃聲に驚き守備兵現場に馳せ付け應急手當を施したるも其の甲斐なく事切れたるを以て同日夕刻假埋葬に附したるが南原在住民はその死を聞き香料として四十六圓餘を贈りたりと

東京の平和祝賀會 (前列右より)伊國大使、田中陸相、加藤高明子、原首相

千古に傳ふべき講和條約文の裝釘
用紙は美麗なる日本紙

約四千弗を要する見込み

對獨講和條約正文寫しは美麗なる日本紙に印刷し褐色の摩洛哥革にて裝釘しあり其費用約四千弗を要す可しと而して該條約署名者は百名内外に達す可ければ一名に就き二分を要すと假定し

全體の署名に要する時間は三時間 の長時間を要す可く叉署名に要する紙數は十二頁に達す可しと(巴里電報)

李容九男の遺忘兒

イの一番に平岡女史の鮮人寄宿舍に引取らる

撮て報道の平岡木村内女史の計畫中なりし朝鮮留學生寄宿舍は其後漸次具體的進捗を見先般高田村七百九十四番地に相應の邸宅を借入れ

假寄宿舍 として開設する事となりたり是れに就て平岡女史は語る『愈々皆樣方の御盡力に依りまして假寄宿舍を開く事の出來ましたのは私共の深く感謝する處でございます最初の收容者として私の手許に居られますのは朝鮮の貴族として錚々たる故男爵李容九氏の嗣子

李碩厓 こ仰しやる十一歳のお孃樣でいらつしやいます此方は故男爵の深慮から幼い時に紳出の某素人下宿に預けられてゐられたのださうでございますが

宋子爵が 上京せられ此の度叔父に當られる下宿屋に置くのも好くあるまいと私に御相談がありましたので早速お引取致しましたやうな譯で御坐います只今では元氣よく麹町の富士見小學校に通學して居られます』(東京支局)

母に捨てられた朝鮮少女
支那人に養はれ久振りで實父と邂逅

忠淸南道忠州郡邑内面可州里金致三(五二)の妻某は昨年十一月以來二女在鳳(一二)を伴ひ情夫某と共に京城に潜伏し居たるが本年五月に至り夫金に宛て京城に於て出產したれば金三十圓を送れとの催促状を發したるに依り金は妻女の行方搜査中なりしが其後遂に手紙の出所を更めて京城したるも女は既に情夫と共に何處へか逃走したる跡にて其後引續き行方を探査中のところ本月一日に至り二女在鳳が西小門町麵麭製造業支那人牛新年方に養はれ居るを探知し直ちに同人を訪れて事情を訊したるに在鳳は母に捨てられ居たるを支那人某の紹介にて牛新年が引取り我子同樣に養育し居たること判明し金は新年に對し深謝の意を表し警官立會の上在鳳を引取り徒歩にて歸鄉したるが在鳳は過去數箇月間に於て支那語を覺え能く新年との別離を惜み立會の警官をして哀感を催さしめたりといふ新年も亦一文の養育料さへ要求せず在鳳に對する惜別の涙を絞れりと

新造軍艦命名

近く建造の巡洋戰艦二隻は天城赤城と命名されたり(東京電報)

是から多い男女の醜態
お互ひに愼め

當局は嚴重に取締る

昨今暑さが追々加はるに伴れ風俗上違犯行爲のものが増加する一例を擧けて云へば通行人が見通しの場所で

赤裸々の 儘食事したり或は紅いお腰一つで涼みを納れたりしてゐるものを屢々目撃する、外出して歸るなり汗を拭ふ爲め暫時肌を脱ぐ位の事は敢て咎めぬが店先でおほぴらに裸體になつてゐるものは大目に見る譯には行かぬ警察犯

所罰規則 第一條第五十六號に『公衆の目に觸るべき場所に於て袒裼、裸裎し又は臀部股部を露はし其他醜態を爲したるもの』とある以上是に該當するものは嚴重に取締らなければならぬ電車で股を露出してゐるなぞ風俗を亂す計りで無く自分としても大に恥べきである殊に

女に醜態 を爲すものが昨今は男より多い支那人の野菜行商を値切つてゐるものなぞは紅い蹴出しから太股を遠慮會釋なく現はして店先に腰をかけるにも洗濯をするにも如何がはしい處を出してゐる是等が一步進むと手段方法に依つては刑法上の猥褻罪を構成しないとも限らぬ從來

國の東西 を問はず夏期に猥褻罪の多いのは自ら挑發するからである今後は是等を嚴重に取締る方針であると龍山憲兵分隊長尾司法主任は語つた

郵便より糞便
服部局長の憤慨

京城郵便局では先年來郵便物運搬用自動車購入の計畫があるが豫算の關係上却々實行を見るとが出來ないで居つた然るに今回京城府が先鞭を着けて肥料や糞尿運搬に自動車二臺を購入し近く實行するとになつたので服部局長憤慨せないとか郵便より糞便が前に自動車に乘るとがあるかッ!

昇汞を仰ぐ

大邱元町井上自轉車店の雇人原籍山口縣都濃郡大背村熊吉の弟石村金一(二八)は三日午前十時過ぎ昇汞粉末十瓦を嚥下し苦悶し始めたるより家人は大に驚き直ちに慈惠醫院に連れ行きたるが同人の所持品中には一通の遺書あり文面は自分は病氣の爲めに思ふやうに仕事も出來ざれば自殺す先立つ罪は赦し下さいとあり同人は引續き慈惠醫院に入院療養中なるが極めて重態なる由

二千圓強奪

去る一日未明慶北尙州邑内を距る約一里の部落鮮人宅に兇器を携へたる五人組の賊闖入して二千圓を強取逃走したるが途中東門外花開橋上に二百圓を遺失し去りたりと所轄尙州分隊にては目下犯人の搜査中なり

列車中でお產

三日午前七時大邱驛發浦項行の輕鐵列車が午後一時卅八分土方驛に着したる時乘客中の一人浦項鶴洞居住の岡部只八の妻(二八)が俄然產氣附き列車中にてやす〳〵と女兒を分娩したるを以て驛員は懇に看護しつゝ安康驛まで送り同驛にて下車せしめたるが母子共に健全なりと

巡査へ銀盃

本町署巡査小林金兵衛氏は數年間吉野町派出所に勤務し受持區民よりの信望厚かりしが先日同氏が同派出所を引揚げ本署詰となるに際し古市町有志より感謝の意味を以て三組の銀盃を同氏に贈れり

◎妙心寺接心會 長沙洞妙心寺別院にては五日より九日まで毎夜午後七時半まで陰凉會員の夜座攝心ある由なるが一般に志しあるものの來會を希望する由

生魚の鑑別法
新らしいのは磯臭い 目玉や鰓にも注意せよ

魚のよしあしを見分けるに第一の條件は本來の色氣を知らなければならぬ、赤い魚(鯛など)白い魚(平目等)黑い魚(黑鯛の類)青い魚(鯖、鰺など)の四種である、新しいものは必ず此色が各々鮮かで艶を持つてゐると同時に大體丈の細長い胴に丸みのあるものは味がよく、丈が短くて平つたいものは味が劣るやうである、それから尾のあたりに肉の持つたものを選ぶが宜い臭氣にも注意しなくてはならぬ、新しい魚は磯臭く、古いものは生臭い、切身になつてゐるものは切面をなでてみるとべつたりするやうなのは古いので、中毒したりするのは之等である

鯛でも鰈でも買つたならすぐ三枚におろして置くがよい、冷藏器に入れて置くか、さもなければ魚屋へ使ふ迄つけておくやうにする次に眼球が澄んでゐるのを取る事、彈力のあること、へこまぬもの、鰓が鮮紅な事等が條件である、生貨物は背骨のあたりが膨らんで居り、腹のヒレなどが赤くなつて血が滲んだやうになつたのが證據である

それから鹽水をかけると一時は大變に鮮が出るから之れも氣をつけなければ素人は大抵一杯食はされる、一體魚に限らず外のものでも良く保たせる方法は生半可な煮方をせずによく煮切る事である

そして煮上がつたら團扇であほいで、手早くさまし、之をあまり空氣にあてさせずに密閉して置くに限るのである なるべくなら生魚を避けて酢につけたものを食する方が夏は安全である、例へば鰯ならば一鹽にして酢につけ、捨酢にした上、更に三杯酢を作つて食するやうにすれば大抵のものはあたるこいふ恐れはないものである

演藝 …□… 七眞珠梗概

大正館の連續大冒險『七眞珠』は上場以來毎夜非常なる好評を博し居れるが今其梗概を示せば貪婪飽くなき名を知らざる土耳古の領主が稀代の名寶と誇りつゝあつた七眞珠の首飾りを貴族ムスタファーベーが預り居る中其甥女イルマの不注意により世界的惡漢グレディーの爲めに奪はれグレディーは己が兄分に一個づつを分與したる上米國に歸る領主は激昂しムスタファーベーが生命を以て其罪を償ふか叉甥イルマを愛妃の中に加へんと難題を持出したる爲イルマは六ケ月の猶豫を乞ひ米國に渡り眞珠の行方を探れんとす青年ハリーはイルマに同情し結束して共に眞珠の行方を搜索し種々危難を冒して漸く二個の眞珠を得たれども惡漢ペリーの奸策に陷りイルマは輕氣球に吊されて深夜空中に流されたり其悲鳴によりて是を知りたる青年ハリーは軍用飛行船に搭乘して彼を追ふ惡漢叉水上飛行機にて追跡し盛んに爆彈を投下しハリーに危害を加へんとせしがハリーの冒險遂に効を奏し空中に於て飛行船より輕氣球に乘移りイルマを抱き落下傘によりて降下する本週上場の五六篇はイルマと青年ハリーが再び惡漢の陷穽に依り地下室に投げ込まれ水攻め火攻めに遭ふと云ふ壯絶凄絶なる場面なり

◎浪花館 五日より大阪三友派落語若手一座にて開演、落語の外浪花節、錦前琵琶、娘義太夫、相撲甚句、危險術、輕口茶番等あり、季節柄納涼興行として大好評を博するならん

◎壽館 [illegible]文藝一行五日六日の替り狂言左の如し ▲壹番目かるか樂三場▲貳番目花瓶と土瓶三場▲三番目操一貫三場▲四番目反魂香三場

「水戸黄門を觀る」

喜樂館で四日から封切上演された水戸黄門漫遊記を見る、是は日活が過般佛國よりの註文に接し日本映畫代表作品として特製した映畫である、劇中に出て來る大名行列、獅子舞等は非常に大規模なものである聞けば日活は是が製作に五萬餘圓を投じたと相な全七巻を通じて滑稽百出然かも勸善懲惡の大道は全篇のドノ場面にも織り込まれて居るから通俗敎育としても好く且つ肩の張らない點に於て頗る良的映畫としても第一であらう平民の味方である水府老公の行動はデモクラシイ全盛の今日吃度受けるに違ひない、單に寫眞として頗る鮮明で快いものである

解雇廣告

猪俣猛

右者今般合意ノ上退店致候ニ付今後弊店ト關係無之候間此段廣告候也

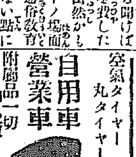
大正八年七月五日 京城本町三丁目 藤富國太郎商店

結核專門 古賀病院 九州線田代驛ヨリ四丁 鳥栖

平和克復紀念大賣出し 壹割引 自七月一日至七月十日

京城本町壹丁目 平井時計店 電話二二〇一番 振替京城一二六一番

空氣タイヤー 丸タイヤー 自用車 營業車 附屬品一切卸小賣 サクラタイヤ朝鮮一手販賣 京城黄金町二丁目二九 イバラキ商店 電話二九二七番 振替京城九一七番



◎警務總監部認可◎ 石丸製 衛生無害 蠅取散(ハヘトリサン) 定價壹個 拾五錢

本劑は是迄ありふれの蠅取藥の如く衛生上有害なるものにあらず劑者茲に見る處あり多年苦心の結果衛生上無害にして全滅する藥を發明す此蠅取散誤つて飲食物に混ずるも決して害更になし其他蚤ピンテ等に有効なるは勿論一日二三回撒布する時は蠅を逃れ如何なる惡蟲も遂に上る事なし不潔物運搬病毒の媒介を防ぎ殊に[illegible]食の間合に於ても數時間室内に撒布せば全く蠅を見る事なし依て衛生上無類の輕便品

◎最寄ノ販賣店ニテ御求メ乞品切ノ際ハ弊會ヘ直接御注文願フ

◎近來粗製模造品ヲ濫賣スル者アリ御求メノ際ニ本舖宮崎縣石丸仲次名儀ニ御注意ヲ乞フ

○各地特約販賣希望ノ御方ハ御照會被下度見本御入用ノ際ハ五錢御送金乞切手代用ニテヨシ

京城黄金町三丁目 全鮮一手販賣店 上田商會

都山流 尺八指南 [illegible]

◎鍼灸術開業

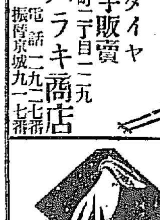
子宮病 腦病 中風病 疝氣病 胃腸病 脛骨神經痛 小供肝虫病 手足の痛 しびれ病

今般左記の處に開業專門治療に從事す 日本鍼灸專門學院卒業 廣島鍼灸研究院 (入院隨意)

鈴香延命院 京城本町三丁目新川雜貨店裏通 (電話取次一八八番)

日本と古樂器買入 京城本町 ウツボヤ

朝鮮三十大本山御用達所 各宗御佛壇佛具調進所 おぐらや 小倉佛具店 京城本町貳丁目 電話一五七一番 振替三九五二番



純良の藥品と賣藥が揃つて居ます クラブ化粧品代理店ですから……卸値が安いです…… 京城本町二丁目角 古城賛化堂 電話一〇二番 振替七三七番

中元賣出し 日の丸小間物店 來ル五日ヨリ 京城本町電一九二〇番 御進物用至極體裁ノ良キ商品券調製仕候

みだれ咲き

第七十八回 島山碧波作 森田久畫

薄倖の夫人初江が、今しも世の中の總てを悲觀して我家の墓前で自殺しようとした時。

『まだ死ぬのは早い』

斯うした一語が何處からとも無く彼の女の耳へ傳はつて來た。

『あッ……』

思はず知らず手にした剃刀を取り落した初江が、ギヨツとして四邊りを見廻すと、傍の高い樫の木の梢に一羽の鴉が悲しげな聲をして啼いるばかりで廣い墓地内には誰も人の居るやうな樣子がなかつた。

『心の迷ひだつたか』

初江は落ちた剃刀を再び拾ひ上げた。さうして頬に辷る涙を拭ふやうこともせず。

『斯んなことではお祖父樣の靈へは行けない』

彼の女は我と我が心を取り直して再び剃刀を咽喉元へ突き立てようとした時。

『ナ……何をなさるッ』

先刻から墓場の陰で此の樣子を眺めて居た一人の老紳士は、右の手に白髯を扱きながら、初江が剃刀を握つた手を抑へた。

『誰何か存じませんが死なねばならぬことが御座いますのですからどうぞお放しなさつて下さい』

初江は抑へられた手を振り拂はうとしたが、不圖其の老紳士に氣が付き。

『おうお父樣……』

こう叫んで縋り寄からうと其の手を遮つた老紳士は徐に横を向き

『何處の方か入違ひをしては不可ません、俺は二階堂友春と云ふ者じや』

心強くも斯う云ひ放つた伯爵は涙に聲を顫はせて。

『何處のお方か知らんが、どうやら貴女は自分の濡れ衣を乾すことが出來ぬので、子供達の身を思つて死を決したやうじやが夫は惡い量見じや』

『…………』

『俺にも恰度お前さん位の娘があつたが、夫は或る事情の爲に一旦嫁した家を出て居るのじや然も二人の子供まで嫁した家を出て居るのじやが、其の娘が生んだ俺の孫はな……』

老伯爵は縺れる舌頭に力を入れて初江の窶れた面を眺め。

『あらぬ濡れ衣を乾すことも出來ずに家を出た母の後に殘つた二人の孫はどの位の憂苦勞をして居るか判らぬのじや、さうして家の中には惡人共が跳梁して居るので可哀相に夫に堪へ兼ねた孫の龍雄と云ふ少年は此の墓前で死を圖つたのじや』

『わッ』

夫れと聽いて驚愕の聲を發した初江は

『ソ……さうでございますか、さうして龍雄はどう致しましたらう』

彼の女が息を喘ませて訊すと袂から白きハンケチを取り出して、ソツと涙を拭いた老伯爵は。

『俺は其の少年の死を制止ましたよ、さうして邸へ連れて行つて段々事情を聽いて見ると、此の儘にして置けぬ事情もあるのじや、けれども俺は他人で餘計の干渉も出來んからのう』

老伯爵は龍雄の事を我が孫と稱したかと思へば今度は他人と云つた、さうして悄然として頭を垂れる初江に向ひ。

『世の中には義理と云ふ大きな柵がありますのぢや、俺としては其の少年が餘りに可憐だから其の少年と少年の姉を自分の邸へ引取つて世話を燒き度いのおやが、今も云つた、其の少年の母親が不所存者だから引取つて世話することも出來ぬ立場なのぢや』

『ゴ……御尤もです、さう致しまして其の龍雄さんと云ふ方は』

『どうなさいました』

『其の龍雄は本人の望みに任せて朝鮮へ遣つたッ』と答へた老伯は夕暮の空を仰いで涙を呑んだ。

寢る時には 腹卷を 必ず締めさせること＝寢冷注意

二三歳から七八歳迄の子供は男女に限らず夏期中はよく寢冷症を起すものですが殊に四五歳の子供が罹り易い樣です、これは申上げる迄も無く暑さのために布團を取つて裸になつた結果腸や胃を惡くして大腸加答兒とか重いのになると疫痢などの病氣を引起すのです、それで子を持つ家庭の主婦に心掛けて戴きたい事は、夏期中は特に寢さする時にはネル製の腹卷を必ず締めさせて其上に單物の寢卷を一枚着せ帶の代りに紐を胸の中間につけて結ぶ樣に適當につけてやることです、又掛布團は餘り大きいのでは子供の運動に差つかわるのみならず苦みを増さするものですから極く幅の狹い子供のお腹一ぱい位に造つた長方形の輕い布團を造つてこれを用ひるのであります、子供には夏期中は早やく眠らせて睡眠の時間は充分に與へてやりかりそめにも夜更かしをして夜露等に當たりしてはいけません元氣のない顔色の惡い子供は必ず睡眠の不足者に多い樣なのを見ても明かに分ります、又敷布や寢卷は絶えず洗濯して取り換へ夜具も日光に乾燥させることを怠つてはなりません

人蔘キヤラメルは 夏期に安全優美高尚滋養に富む ミルクチヨコレート

日報歌壇

女の歌へる

○ 水島 弘雅(京城)

暗やみに探しあてたる庭下駄の素足に心地よき夜となりぬ

日報俳壇

圖涼しき灯の下にて

六月二十九日、浴後涼しい灯の下に座し、打ち寬いだ氣分で新聞に眼を晒して居ると、ヒヨツコリ關川子が見ゑたので、縮めた私かに心を躍らして居ると、續いて無月子が見ゑたので『行かう』『來からう』と何條異議があらう、直ちに『松落葉』『夏痩』二題を試みる事とした關川子等と句作する事は田打夫、草森二子が京城を去つて此の方始めてだつたので非常に嬉しく且つ愉快で堪らなかつた(京城中村紫光報)

○ 關川子

心輕く砂踏む岸や松落葉
松落葉溪流に心靜まりぬ
草青く眼に沁む處松落葉
夏痩の子に歌ふ夏聖母
夏痩せて森に冷ゆ岩に親しめり

○ 無月

草に浮く松の落葉に雨滴かな
松落葉散り落つ苔の晴らかな
夏痩や翳寶つて庭を歩く見る
夏痩や湯上り折目堅き衣

○ 紫光

路を沈めて大地冷たし松落葉
草の中に潰れ茸や松落葉
山亭古り掃ひてもなし松落葉
雨後の石階踏む空しく松落葉
水に落ちて沈む靜けさ松落葉
堺の上の草に堆し松落葉

圖夏の句を募る △夏季雜詠△俳句を挾みたる紀行又は日記△俳句會報等直接京城龍山永登浦松田芳宙宛送付ありたし

日報柳壇 劍花坊選

紙屑屋

紙屑屋夜逃して來た成れの果 柳蛙

▲評。活劇なせず、其儘に出したが『夜逃して』『來た』成れの果はすこしくごいやうに思ふ、『夜逃した果はありけり紙屑屋』など木枯の冒水を落てもあまり面白くはない

紙屑屋掘出し物で藏が立ち 同

▲評。『藏が立ち』が誇張に過ぎる

藏一つ建てゝも屑を買つてる 同

▲評。この方は面白い、『掘出し物』にこゝろわずに、努力の結果で終に藏が立つたさこいぬ藏を持つた身分になつても屑を買つてゐる程の努力者なれば……●

タオル
舶來タオル手拭 一手販賣
卸商 京城若草町四〇 上月商店
電話一〇三五番 振替京城五三三一番

ここくくと音たてながら旅人を待てる湖畔の水色の船
君が爲め匂へと盗る芥子の種ひとつひとつに息かけて見ぬ
堪へ難きもの淋しさよ藤壺と啼されにし髪に卷かれて
あゝ今は此の淋しさなしみくくと語らむ友の一人しがな

○ かみ子(京城)

一筋に泣かまほしきにわれと我が人に反きて逃れては來し
死なましの命ならむひたすらにはかなき人を戀ひ渡りつゝ
打伏してすゝく泣けども眉あげて嘆けどさらにせんすべも無し

○ 春川 歌路

船よせて見返る方の水けむり白く立ち居り千鳥群れ飛び
薄れ日の光る砂原に寄せかへす水面かすめて河千鳥飛ぶ
夏に入れど佗しかりけり丘の上若葉林に小鳥鳴かねば
美しき琴にも似たる音立てゝほろろ花散り初夏に入る

◇歌壇より 紙上の匿名は御自由ですが詠草には住所氏名を明記して下さい▲詠草の文字の分りにくいのは困ります分り易く御認め下さい▲詠草は官製端書で結構ですが一枚に五首以内にして下さい整理上困りますから右くれぐれも御願ひ致します(選者)

新刊紹介

▼利殖之友(七月號) 東京京橋區南八丁堀利殖之友社 定價廿錢
▼解放(七月號) エホバとカイゼルとよりの解放(福田博士)貨幣より解放(高橋教授)文藝の解放(木村教授)武力と金力の禍ひ(堺利彦)婦人と社界(山川菊榮)勞働問題の根據(河上博士)諸家合評芝居見物人工美(野口米次郎)島崎藤村論(加藤朝鳥)等
▼殖民世界(七月號) 支人の食鏡、ある老人(谷崎精二)等
▼天道教會月報(一〇六) 天道教京城府松峴洞共發行所
▼勞働世界(七月號) 勞働自由契約の內容、英國の產業と勞働保護、二昔前の勞働問題回顧等(廿五錢)
▼婦人週報(廿五號) 東京市牛込區市ヶ谷田町二の一七 婦人週報社
▼大日本私立衞生會雜誌(三十七號) 廿五錢東京市麴町區大手町一 大日本私立衞生會
▼東洋皮革新誌(一七六號) 十五錢大阪市東區內淡路町二の七七 東洋皮革新誌社

後者の領分

▲野球に負けたさて心配して氣を惡くす可きではない負けたと云ふことは未だ修練して上達する餘地があり餘裕があり努力いと云ふ心配に精力を殺かれる(本魚生)▲本年は從來比較的降雨多く蔬菜類の出來榮は著しく水稻も漸次植附支障なく行はれ居候は御同慶の至りに候之に反し市內各所の溝渠は下水道修築と共に却て一雨毎に氾濫の危惧有之こは從來地の理に悉しき鮮人の自然的天然的施設を箱庭式內地式に改惡するに因るもの多く例へば三尺の溝幅を强ひて一尺又は一尺五寸等に切詰め候現狀にて是等些少の施設にも遺憾なく島國的根性を暴露致居候は半島とは申せ大陸の地續きたる先住民に對し恥かしき次第に存候斯る愚劣極まる改修は單に雨期のみならず冬期結氷の際に至らば最も判明に其玩具式施設の滑稽を露出致候匆々(土木工師)▲迂生は中林洞の一農夫なるが拙宅より南大門に出づるには蓬萊町二丁目(南大門停車場直後方踏切)鐵道線路を通過するを最近捷徑とす左なきだに同所は牛馬車の往來多く且つ不潔なる鮮人部落なりしが過日より停車場擴張敷地となるに付き家屋取り拂ひ夥頗る混雜を極め且つ當分は婦女子の通行危險なり其の筋より街燈の點火を乞ふ且つ擴張工事後余等の通行は現時の位置にて就け地點に變更する哉新道路又は陸橋等の開設方位設計圖あらん滿鐵當局に說明を願ふ(洞民總代)▲伺ひ生に答ふ今穿鑿き意見を有つものもあれば參考として讀者の前に提供せるのみ(係)▲廿七日朝七時四十分頃黃金館前停留所で電車を止めて呉れなかつたので後の電車を約十五分も待つてやつと乘つたが之れが爲め到頭學校を遲刻して終つた京電の注意を望む其電車番號は九十一號でした(一敎員)

大阪財界便り

砂糖相場は本新通縣と相俟って……

戰後の……支配さるゝ關係上、砂糖相場の中、砂糖の輸入若くは消費に大へるに歐洲大陸に在りては甜菜糖耕地の復舊に相當の年月を要するなれば今後も需要に對し供給……

新高値を示 せるもの

……糖相場は世界的相場の影響を……つてゐる最近入電によれば瓜哇……

市場に影響 を及ぼし

三十日當地市場に於ける相場は……大正三年の最安値より約十三割方七年の最高値より二割八分方……を演じてゐない併し現在直段三十一ギルダー五十セントの瓜哇白双を内地に輸入すれば左の採算……

手數料 小計 輸入稅 消費稅 合計
二七、四〇〇 三 四、六八〇 九、〇〇〇 四二、〇八〇

京 大阪 合 水戶錢 四十錢 …◎… 割引料金 廿五錢 京城

いがん病 の人心配無用良藥有り實に御返信料添へ申込あれ神藥を詳報す 兵庫縣明石相生町 森本家

てんかん ヒキツケル病で御困難の方効能正しき良藥高家に有り返信料添申込の方に委しく通知す 兵庫縣明石町 辰巳精米所

最上清酢 日本一 マルカン印

最上醤油 ミほまれ味噌 日本醤油株式會社 京城出張所 電話二四三番

京日案内

營業 ▲御報參上 ▲古本熱心高價買入 ▲是非御試買を乞ふ 本町二丁目 電話三二九五番 群書堂

番外 移轉 古城菅堂 京城府香村洞百七十一番地(獨立門側製糸所隣) 電話九三二番

移轉 下村泰造 京城本町三丁目三九(大倉組出張所北隣角) 電話八六番

◎結球白菜種子 本場直接仕入 芝采電信局街 川上洋行

◎倭茂 六神丸 定價 壹圓 五十錢 貳圓 五拾錢 三圓 京城長谷川町七五 中華醫院 電話六七五番 振替京城六二三

◎給仕貳名入用 年齢十四五歳以上二十歳以下 希望者は自筆履歴書携帶來談 京城茂州通 スタンダード會社

外務 社員高給招聘 希望者履歴書携帶來談 地方遠れ 京城黃金町貳丁目 日清生命 朝鮮支社

藥局生及看護婦見習 至急入用 但希望者は本人來談 高給を支給す 仁川 小倉病院

古ミシン高價買入 電話又ハガキ御一報次第參上 京城鍾路二ノ二七 電話二三三八番 楠商店

貸家 事務所向十疊一六疊三 三疊二 四疊半二 一元春の家跡 本町一 電四九八番 大和軒

小使募集 內地人 應募者は來る十二日迄履歴書携帶出頭の事 市內に確實なる保證人を要す 南大門通一 朝鮮郵船會社 調度課

▲集金外交員募集 府內ノ事情ニ通ジ外交ニ巧ナル者 希望者履歴携帶午前本人來談 長谷川町七六 京城雍產會

◎店員募集 廿歳以上三十歳迄 但市內確實なる保證人を要す 京城古市町二 電話壹六貳 和泉商會

徵兵檢查 甲種合格以上の体格を作る
正しき補血強壯增進劑
ブルトーゼ
虛弱者は今直ちに本劑を服用せられよ!
而して有爲なる人物としての剛健なる体格を作られよ!!
(体內に於ける作用效用等詳細說明書進呈)
發賣元 大阪道修町二丁目 東京本町四丁目 藤澤商店
本劑は各地有名なる藥店に販賣す萬一品切の場合は直接本舗へ御照會を乞ふ

丈夫で安い實用靴 ボックス革製

編上 甲乙 四圓四十錢 五圓四十錢 …… 半靴 …… 深護謨 ……
陸軍御用 東京牛込肴町六〇 振替東京四一八八四番 ツブク靴店
原料暴騰に付七月一日より飛乗牛靴甲乙共金五拾錢づゝ値上仕候間左樣御承知被下度尚一層の御引立の程奉願上候
御注文の節は足の文數と種類を御知らせあれば實費代金引換小包で送る

品質第一

銘酒瓶詰之一大權威
全道各地之需要激增
大阪府堺町 宅合名會社
攝津灘工場吟釀

角形石鹸元祖 浦本工場 京城 電話二貳九四番 振替二一三九番

日本郵船仁川出帆
大連、天津、牛莊行 濟州丸 七月 日 正午出帆
高砂丸 七月 日 正午出帆
相模丸 七月 日 正午出帆
都合ニヨリ早發スルコトアルベシ
仁川濱町一丁目 電話十番 堀回漕部

最新刊
書名 著者 定價 送料
憧憬 相馬三郎著 一圓三十錢 八
不滅の像
社會主義の立場から
我が民本思想 佐々木 一〇〇 八
悲しき笛 有本芳水 六五 四
赤い矢帆 江口渙 四〇 四
グループ少品集 定價一圓 送十二錢
工業須知 松井義方 一五〇 一二
西洋畫の描方 高村 一八〇 八
ロビンソン漂流記 井上 一三〇 八
新生活法 鎌田豐 一三〇 八
リビングストン傳 有島 九五 八
鮮譯國語大辭典 定價四、三〇 送料三六 金澤庄三郎校閱 船岡獻治著
京城本町一 大阪屋號

阿波共同汽船仁川出帆
▲芝罘大連行 第十一共同丸 七月 日 午後入港 正午出帆
▲青島直行 第十共同丸 七月 日 午前入港 午前出帆
▲秦皇島行 第十三共同丸 七月 日 正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて青島行定期船接續貨物取扱 大連にて滿鐵連絡共通輸送
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目 電話一七三番
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店